

ルール

東京都の榊添知事が注目を集めてしまいましたね。私がここでは是々非々を語る必要はありませんが、せっかくですので一つだけ触れさせて頂きたいことがあります。それは「ルール上は問題ない」という発想についてです。

前回のパイルアップでも「何かを言われたからそうするのでなく、心を感じ取る感性を大切にしたい」と述べましたが、まったく同じような内容です。規則だからダメ、禁止されていないから○と言う発想だけでは、人間関係は成立しないと思うのです。例えば青信号。車を運転していて目の前の信号が青になったとします。こちら側は進んでも良いという状態ではありますが、もし歩行者が横断歩道を渡り終わっていなかったとしたら？そこで青だからと言う理由で発進してしまったら、事故につながってしまいます。

ルール上は進むことが許される状態でも、そこに「人としての判断」が必要になってくるのです。理想論ではありますが、この判断力が的確に備わっているのであれば、ルールの必要はないのかもしれない。そこにルールがあろうがなかろうが、「道徳心」こそが人間の行動を正す最適な要素なのです。当然、必要だからこそ様々なルールが私達のまわりには存在しています。しかし、本当にその必要性を感じ取る道徳心がなければ、ルールはあまり意味をなしません。守るか破るかよりも、「なぜ？」が大切なのです。

規則より道徳心の方が はるかに畏敬の存在である

最近、地域の方がとり連続してお叱りの電話を受けました。バスや電車の利用マナーは、ルールのあるなしに関係なく、「人として」周辺の方々も自分自身も気持ちよく生活できるよう心掛けることが大切です。それは通常の学校生活でもまったく同じことです。ほんのちょっとした我慢を持ち寄って、集団生活は維持されています。叱られるからとか禁止されているからと言う以前に、一人ひとりの心が行動を正していければ、とても素敵ですよ。

来週の予定 第7週 5月23日～5月28日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
23日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
24日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
25日(水)	水①	水②	水③	水④	木⑤	木⑥	水⑦
26日(木)	木①	木②	木③	木④	新花祭準備		木⑦
27日(金)	終日新花祭準備						
28日(土)	新花祭準備			放課後			

○左に書いたように、地域の方からのお叱りの電話を頂きました。生徒本人にも直接指導して頂いたそうです。何とありがたい…子ども達は地域社会全体の財産です。このように子ども達の立ち居振る舞いを正そうという大人の方々に恵まれている社会の方が、本当に子どものためになると思うのです。問題が起きない学校が素晴らしいのではなく、起きた問題に対して、地域全体が一生懸命力を貸して下さる学校の方がうんと素敵です。生徒の皆さん、先生方が謝って済む問題ならば、いくらでも謝ります。せっかく叱って頂けるのです。そこで学んで成長できれば、全部それは君達の財産になるのです。有り難い有り難い。「むかつく！」とか「うざい！」と思った瞬間、はっ！と思う価値観を大切にしてほしいなあ。その瞬間こそ、大きな気付きや成長が訪れる大チャンスなのかも。

○何と！新校舎の体育館が全貌を明らかにしてきました。これはまるで体育館のような体育館です。他校では当然あるものですが、本校はなくても工夫して歴史を刻んできたのです。あるかないかではなく工夫するかしないか。その精神は、守り続けましょね！



今週のまる子ちゃん



ちょっとまる子！ 宿題やってるって？ 大丈夫？

(笑える…当然だと思えることも相当無理してるのかもしれないよ？)

パイルアップ

平成28年
5月26日

第7号

文責:校長

予測

いやあ困ったことになりました。新花祭の天気予報が時間とともに変化するのは。日曜日に確実に降るとわかっておれば迷わずに土曜日に前倒します。しかし土曜日だけ晴れば良いかと言うとこれがまた…前日が雨だったらグラウンドは乾いていません。どんなに天候に恵まれても、ぬかるんだグラウンドでの体育祭は避けたいものです。判断が難しいの何の。

解決する簡単な方法は、当日判断を連絡網等で回すことです。当日朝判断できれば、それが一番確実です。しかし、狭い校区から通ってこれる中学校と違い、高校、特に本校の場合は生徒の皆さんの通学範囲は恐ろしく広範囲にまだがります。朝の判断では遅すぎるのです。それ以上に保護者の方々も当日朝に急に中止と言われても、お弁当準備等影響は絶大です。従って本校は最悪でも前日、可能であれば2日前には判断を行うようにしています。

これがまた外れてしまうんですね。台風接近等で早々と前日以前に休校判断をして迎えた朝、小学生が元気に登校する姿を見ると、さすがに落ち込みます。貴重な授業時間を割いた結果が、単なるお休みになってしまうのです。しかし、よく考えたら台風の被害がないことが一番良い結果なのです。無用なお休みは避けたいのが当然ですが、もっと避けたいのは生徒の安全が脅かされること。本校の判断基準はこの一点のみ、揺らぐことはありません。

未来が見通せれば誰も悩まない 不安の種は 先が見えないこと

ひょっとしたら、このパイルアップと変わらないタイミングで、新花祭の日程変更の通知文を印刷しているかもしれません。前倒し、決行、延期、どの結論が正解かまったくわかりません。先に謝らせて頂きますが、予測が外れたら本当に申し訳ありません。雨の中の新花祭になるのか、晴天を恨めしく見上げながら授業に励むのか。その先どうなるか分かっていたら、誰も悩みも後悔もしませんよね。外れることは怖いけど、決断を出すことを躊躇してはなりません。予測は予測、今から先の話は全て仮定なのです。

来週の予定 第8週 5月29日～6月4日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
29日(日)	新花祭(ちがうかも)						
30日(月)	代休(たぶん)						
31日(火)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
1日(水)	水①	水②	水③	水④	情報モラル啓発教室		水⑦
2日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
3日(金)	金①	金②	金③	金④	金⑤	金⑥	放課後
4日(土)	月①	月②	月③	月④	職場体験実習事前説明会		

○あさってより教師の卵の大学生が、本校で教育実習を行います。教育実習がきっかけで教員になることを決心する人もいれば、同じように教育実習がきっかけで教員をあきらめる人もいます。教師の厳しさを説く学校はいくらでもあります。本校は教師の素晴らしさを説く職場でありたいと願っています。喉元すぎればではいけません。私たちも全員が必ず通ってきた教育自習。初心を忘れないためにも、私たちが実習生から学びたいと思います。生徒の皆さんも、将来の夢のために必死で頑張る実習生の先生方の姿勢から、必ず大切なものを学べるはず。本当に有難いですよね。全校をあげて、実習生の先生方を歓迎しましょう！

○何か決断をする時に、誰もが失敗を恐れます。「うまくいかなかったらどうするの？」と考えるわけですが、私は「どうしたらうまくいくのか」と前向きに考えるように心がけています。似て非なる考え方ですね。前者の考え方ばかりだと、誰かの提案を○か×か、つまり賛成か反対かで評価してしまいます。大切なことは、第三者の考え方を尊重すること。自分と違う判断をしているのであれば、代案を示したり、共に改善に向けた建設的な雰囲気を残せば良いのです。思いつきであろうと考え抜いた結果であろうと、そこにはその人がそう判断した根拠が必ずあるのです。○か×よりも、お互いに相手の考えを尊重したいですね。

今週のまる子ちゃん



意味のないことをたくさんするのが人生なんじゃよ

(失敗を恐れて行動できないより、行動して失敗する方が良いのかもしれない！)

聞こえなくても

立花高校の現校舎が新築された1965年（昭和40年）に誕生したものを調べてみました。現在でも親しまれているものをいくつかあげると、オロナミンC、プルトップ式の缶ビール、JR（当時は国鉄）の緑の窓口、北九州空港（当時は小倉空港）、プロ野球のドラフト会議、懐かしいところではアニメのオバケのQ太郎等々、他にも結構たくさんあってびっくりしました。

当時この校舎はまるで白亜の殿堂のような堂々たる威容を誇っていたそうです。周辺にもまだあまり建物が建っていなかった時代です。相当遠くからも目立つ和白地域のシンボルのような存在だったそうです。地元美和台の私よりも年配の方からも、運動場で遊んでいて当時の本校の校長先生が相手をしてくれた等、懐かしいたくさんお話しを伺うことができます。

いよいよこの愛すべき校舎とのお別れの6月を迎えてしまいました。新校舎との出会いの嬉しさよりも、この校舎への惜別の想いがうんと募ります。生徒がほとんどいなかった時代は、便器で鳩が卵を温めていたそうです。先生方が生徒と一緒に校舎の壁の色塗りをした時代や、5階建ての3階から上は殆ど使っていなかった時代など、それぞれの時代時代に振り返るだけで涙が出そうなほどの懐かしい思い出があるのです。もしこの校舎が感情を持っているならば、この6月をどんな心境で迎えているのでしょうか。

言葉は聞こえなくても 想いを感じることはできる

ひび割れた壁、ぼろぼろの天井、めくれたタイル…すべてが50年間にわたって生徒達を見守り続けてくれた温かさの形です。私達はこの校舎に抱きしめられて、喜怒哀楽を刻んで来ました。今は、私達がこの校舎を抱きしめるときです。一枚の窓ガラス、教室のたたずまい、先輩方も触ったであろう手すり…その全てを大切に使い切りましょう。毎日の清掃もあと10数回を残すのみとなりました。ゴミ一つない開校当時と変わらない美しい姿で見送ることが、私達の責任だと思っています。ありがたいの気持ちと共に。

来週の予定 第9週 6月6日～6月10日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
6日(月)	6月4日 参観日の代休						
7日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
8日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
9日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
10日(金)	金①	金②	金③	金④	金⑤	金⑥	放課後

○いつも明るい有川先生が激怒！実は新花祭の終了後、本校の生徒が地域の方の運転する車に悪ふざけをしてお叱りの電話を頂戴したのです。悪ふざけだろうが何だろうが、生徒の皆さんが成長してくれるのであれば、私達はいくらでも地域の方に頭を下げて謝ります。何があっても私達は皆さんの理解者・味方でなければならないのですから。しかし、特に今この時期、旧校舎への募る想いは何も私達だけに限ったものではないのです。ここで私達が生活できるのは地域の方々のご理解の賜物です。新校舎建設で多大なご迷惑をおかけしているにも関わらず、皆さんがどれだけ好意的にご協力下さっているか…そんな「思いやり」を感じ取る豊かな感性は、本校の一番大切な命だと言っても過言ではありません。そんな「聖域」が揺らぐような行為を、有川先生は許せなかったでしょう。私も、他の先生方も同じ気持ちです。君達の仕事は私達の手を煩わすことです。たくさん失敗して大いに結構です。しかし、人の気持ちを踏みにじってはなりません。何よりも他人の気持ちを重んじる心優しい君達であって欲しい。当事者だけの反省ではもったいない。有川先生の怒りは、悲しみの現れであることを全員に感じ取って欲しいです。

○新花祭素晴らしかったですね。青ブロックリーダーの西嶋君、団体競技で負けが続きながらも、怒りをじっと耐える姿が本当に印象的でした。まさしくスポーツマンシップ、個人の感情をおさえて全体の調和を重んじた姿勢は、青ブロックに限らず多くの人に見られました。嬉しかったなあ。今思い出しても泣きそう…多数のご来場ありがとうございました。

今週のまる子ちゃん



自分をあきらめちゃだめだよ

(お姉ちゃん言葉です。お姉ちゃん役の声優水谷優子さん、安らかに…)

元祖

福岡を代表する物産品の「明太子」。私も実家に帰る時は必ずお土産に買って帰ります。その元祖とされる「ふくや」の川原正孝社長が先日放送のカンブリア宮殿で特集されました。私もこの数年社長とご一緒させて頂いており、そのお人柄に触れさせて頂くたびに、本当に大きなエネルギーを頂きます。



今これだけ市場に流通している明太子ですが、もともとは川原社長のお父様が苦労して開発されたもの。そこで川原社長が若かりし頃、商品に「元祖」という文字を入れることを提案されたそうです。それに対しお父様は「元祖と入れたら、明太子がおいしくなるとや？」と悠然と返されたそうです。

肩書や宣伝文句では、そのものの価値が本当に向上することはありません。大切なのは本質なのです。それ以降のふくやの隆盛は、今や一社だけのものではなく福岡全体の経済に大いなる恩恵をもたらして下さっています。創始者として特許をとっておけば明太子の利益は全て独占できたはず。しかしお父様は、明太子が広く愛されることを願って、あえてその製造方法を公開し、社会全体の利益となるように配慮されました。目先の利益でなく本質を貫いた結果、結局はその何倍もの信頼と感謝を一身に集めているのです。

感謝を強要しない懐にこそ 感謝は集まっていく

私の個人的なふくやへの感謝は「家庭用明太」を流通させて下さったこと。明太子は意外と高額なんですよね（汗）。なかなか毎日と言うわけにはいかなかったものを、型崩れ等の商品を気軽に購入できる価格設定で家庭用として売り出して下さったおかげで、以前よりうんと食卓で出会えるようになりました。立派なものにはそれなりに役割があります。ならば、半端ものにも役割があるはず。両方が大切なんですよね。個性特性の全てになくはない意味がある、だからこそすべてが有り難い存在なのです。

来週の予定 第10週 6月13日～6月17日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
13日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
14日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
15日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
16日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
17日(金)	金①	金②	金③	金④	金⑤	金⑥	放課後

○阪急の地下で3枚セットのピザを購入しました。それだけのことなんです、悩みに悩んでしまって…だって3種類を選ぶことが本当に難しいのなんの！マルゲリータは外せないし、海の幸も魅力的だし、クワトロチーズは大好きだし、しめじ系は鉄板だし…ああでもないこうでもないと思いつつ、ふと「結局全部ピザじゃん」と気付いたら、あまりの悩みの小ささに急におかしくなっていました。人生決断の連続です。阪急に行くことも、地下に行くことも、ピザを買うことも、全部自分で決めたこと。その上、最後に3種類の絞り込みで産みの苦しみとは（笑）。登校するかどうか、授業に出るかかどうか、出席した授業をどのように受けるのか、全て君達が決断すること。誰のせいでもありません。自己責任の大きな厳しい選択ですよ。前に進むも立ち止まるも、すべて君達の自由です。例え選んだピザがお口に合わなくても、それを選んだのは私自身。おいしくないと思っても、おいしく食べる工夫も大切ですよ。

○新里先生が美術室で使ってた机には、昭和40年のラベルが貼ってあります。つまり、この校舎の竣工と同時に使い始めた大ベテランの机、新里先生はそれを新校舎でも使い続けるそうです。新しいものでも古いものでも、そこに命を吹き込むのは使い手です。この校舎はまだまだ健在です。古いものでも生命力にあふれることもあれば、新しいものでも命が宿らないものもあります。新しいか古いかよりもよほど大切なことがあるのです。ああ残り2週間（涙）。生徒の皆さん、保護者の皆様、最後まで、どうか最後までこの校舎を心で感じ続けましょうね。

今週のまる子ちゃん



今がすべてだよ 今はこのお菓子のおいしさしか語れないよ

(過去を語らず未来を不安がらず…今を懸命に生きるって以外と単純なのかも…)

パイルアップ

平成28年
6月16日

第10号

文責:校長

そうかな？

来週からデュアルシステムコースの職場体験が始まります。学校と職場の連携は、既にもう10数年前からインターンシップと言われる短期の体験が定着化していますが、本校の場合全国でもまだ珍しい長期の実習です。当然ながら未完成な高校生が、職場に赴いてもろ手を挙げて歓迎されるとは限りません。先方にとっては迷惑な行事なのかもしれないのです。ならば、わざわざそこまでして実施するこの実習の狙いはどこにあるのでしょうか。

よく「お金は楽しんで稼げない」と大人は言います。まったくその通りです。「働く」と言うことは本当に大変です。しかし、お金の大切さならまだしも働くことの大変さを子どもに説くことに私はいま一つ意義を感じません。子どもだって大変な思いをして頑張っていますもんね。人生そのものが大変の連続であることを大人は皆経験で学んでいきます。ならば、私達は日々大変な思いに耐え抜くばかりの、修行のような人生を歩んでいるのでしょうか？

その中に、心の琴線を振るわせる素敵な出来事もたくさんあります。きつい仕事でも、そこにやりがいがあればこそ心も奮い立つのです。少なくとも立花高校の先生方に、嫌々仕事をしている方はおられないはずです。生徒の皆さんとの心の触れ合いに、時には涙を流すような場面があれば、疲れ果てる何気ない日常の中に、ハッとさせられる気付きの瞬間もあります。私達は決して苦行に耐えているのではありません。この仕事が好きなのです。

大人も子どもも頑張っている それに気付けるとまた頑張れる

デュアルシステムコースの皆さん、働くことの素晴らしさを身をもって経験してきて下さいね。そこにいる大人の方々の姿から君たちが得るものは決して少なくはありません。そして帰ってきたら、働くことの素晴らしさを文系理系コースの人たちにも精一杯伝えてください。そしてそれ以上に、立花高校の生徒の愛しさ、素敵な心を、大いに地域全体に広めて来て下さいね。失敗も大いにあるでしょう。よかよか。先生たちがついていきますからね。

来週の予定 第11週 6月20日～6月24日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
20日(月)	前期中間考査・DSコース職場体験実習事前指導						
21日(火)	前期中間考査 ・ DSコース職場体験実習						
22日(水)	前期中間考査 ・ DSコース職場体験実習						
23日(木)	校舎引越し ・ DSコース職場体験実習						
24日(金)	校舎引越し ・ DSコース職場体験実習						

○本日は、新校舎の施主検査です。工事が完了した状況を確認し、やり直しが必要ならばそれを施工側と最終打ち合わせをするのです。まだ中庭や外溝部分は残っていますが、校舎は既に生徒の皆さんを受け入れる体制が整っています。毎夜考えます。旧校舎は新校舎に向かって何を語っているのでしょうか。新校舎は大先輩の旧校舎から何を教えてもらっているのでしょうか。旧校舎はホッとしているのでしょうか。それとも悲しんでいるのでしょうか。新校舎は君たちとの出会いを怖がっているのか緊張しているのか…想像力は尽きません。今日私は1時間目のワールドで旧校舎最後の授業を行いました。いつもより張り切りもせず、ただただいつも通りに楽しく生徒の皆さんと過ごせました。日々に何一つ特別な出来事などありません。いや、普通だと思えるこの一瞬こそが、既にとてつもなく特別な出来事の積み重ねなのです。引越しだから、新校舎だから、最後だから…そんな前提よりも、今そのものが本当に大切です。

○梅雨時期は大変ですね。私はムチ打ちを持っていますので、本当に頭痛がきつい嫌な時期です。でも、紫陽花がきれいな素敵な時期でもあるんですよね。しとしとと降る雨には風情があるし、ちょっぴり差し込む陽光がいつになく輝いて見えたり、日本の四季の趣は本当に素敵です。嫌だダメだと思えばかりでは、景色は変わりません。その中にあるほんのちょっぴりの幸せに気付いてみると、景色もちょっぴり変わるのかも。それがどうなのかを決めているのは、全部自分自身なんですよ。

今週のまる子ちゃん

大人ってえらいなぁ たいしたもんだよ

(そう言われたら、子どももたいしたもんだよ！と言えますよね。ループしますよね)

たった?

11年前の写真です。野球部顧問だった稲毛先生が右端に、後列左には赴任間もない若き日の有川先生が写っています。野球部が結成され、ユニフォームが届いた記念に撮影された思い出の一枚です。



野球部の歴史は、平成17年度の卒業生が立ち上げたソフトボール同好会がきっかけです。何に関しても意欲的だった当事の先輩方は次々に新しいものにチャレンジし、遂には卒業時にあの校歌を私たちに残して下さいました。この写真に写っている野球部初代の部員たちは、平成17年度卒業生の二つ後輩になります。先輩方の意志を受け継いで初参戦した夏の大会で、録音したての新しい校歌を高らかに歌い上げる奇跡の初勝利を収めました。

この夏、野球部は3年生にとって11度目の最後の夏を迎えようとしています。たった一人の3年生部員の御厨君、文字通り寒い冬も雨の日も、ただひたすらに黙々と練習に励み続けてきました。その凄まじい努力を、私たちはいつも職員室から眺めていました。たった一人の努力ではありましたが、誰がそれを「たった」などと評することができましようか。この写真に写っている当時の先輩方もきっと、自分たちの意志を受け継いだ御厨君の陰日たのない誠実な努力を、心から賞賛し祝福してくれるはずです。

量でも質でもない 真の美しさを大切にしたい

御厨よ、よく頑張った！君は立花高校野球部の誇りです。胸を張って戦ってきてください。いよいよ校舎の解体が始まりますが、最後まで御厨君が汗を流し続けてくれて運動場もきっと嬉しかったことでしょう。一人の小さな努力の積み重ねこそ、パイルアップそのものです。生徒全員の頑張りをしっかりと見続ける立花の精神の大切さを改めて実感する今日この頃です。

来週の予定 第12週 6月27日～7月1日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
27日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
28日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
29日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
30日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
1日(金)	金①	金②	金③	金④	金⑤	金⑥	放課後

※2年全員・3年DSコースは職場体験実習

○18日の旧校舎お別れイベントには、何と400名以上もの方々が本校を訪れて下さいました。式典での88歳になられるOB教職員諫山先生のお話には、身が引き締まる重いでした。当時の先生方は必ず心を育てる教育の大切さと、職員室の家族的な雰囲気の素晴らしさを私たちに説いて下さいます。「守り抜く」ことは、逆に「攻める強さ」を持つことだと痛感しています。じっと耐え抜くだけでなく、信じる道を貫く意志の強さがなければ、とてもじゃありませんが苦勞された先輩方の意志を受け継ぐことには為り得ません。時代の流れに逆らってまでも私たちは「立花らしさ」にこだわりたいと思います。最後の校歌斉唱は心が震えました。校歌を初めて耳にされた一般の方々もおられたことでしょうか、一番二番と声が爆発的に大きくなり、三番はまさしく魂の絶唱となって5階講堂に轟きました。まだまだ喉が本調子ではないはずの片山教頭先生の声が力強く響き渡るのを耳にして、器が変わっても営みは不変であることを心から誓いました。前日の全校生徒の掃除の様子を思い出すと、今でも涙が出そうになります。1年にわたる校舎新築事業の集大成として、あの日の全校生徒の一生懸命の清掃の様子こそ、私にとっての一番の思い出の場面となりました。新校舎で挨拶を交わすであろう来週も、何一つ変わらないいつもの立花でありましようね。学校の主役は建物ではありません。先生方でもありません。君たちなのです。新校舎にも魂を吹き込んでくださいね。新たな歴史のスタート、君たちに任せましたよ！

新旧の 白壁洗う 涙雨

朽ちても末に 逢わんとぞ思う

旧校舎よ50年間本当にありがとう 新校舎の中であなたを感じ続けます(涙)

初耳

世の中は初耳の連続です。そりゃそうでしょう。耳にすることすべてを完全に悟っている状態で生まれてくる人などいません。初めて耳にすること、初めて経験することの連続で人は成長していきます。そうして蓄積した知識が知恵となり、その後の人生を豊かにしてくれるのです。しかし、経験を経ると知っている世界がどんどん広がってきて、初めての出会いよりも既知っていることと出会うことが多くなってきます。初耳は減っていくのです。

ここが大切ですよ。ね。「知っていること」と「すでに実践していること」は大きく異なっていることほとんどだと思えます。つまり、知っているものの実践には至っていない、知識だけで終わっていることの方がはるかに多くないでしょうか。例えば料理のレシピ。テレビ等で目からうろこが出るようなとおきの料理法が紹介されます。見ていて「すごい！」と感心することはあっても、実際にそれを実践してみた経験がどれだけありますか？私はほとんどありません。知っていることとやっていることは違うのです。

教育にも様々な技法が存在します。誰も、自分の理論に100%の自信を持って子育てや学校での教育に取り組んでいるとは言えませんよね。手さぐりで悩みながら葛藤しながら、共に育つ毎日のはずです。そんな時に良かれと思ってかけて頂く「こうしたら良いですよ？」と言うアドバイスが常に耳に優しいとは限りませんよね。「もうやっている！」と思えば、他者の助言もなかなか心に響かないものです。自分だって一生懸命ですから。しかし実は「やっている！」ではなく「知っている！」だけのことが多くないですか？

同じ出来事でも 決してそれは繰り返しではない

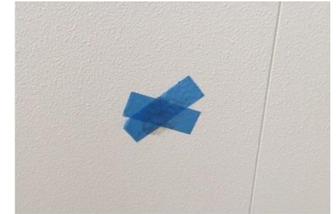
既に知っていることでも初耳のつもりで耳を傾けてみると、そこに新しい発見があるのかもしれませんが。本当に既に実行していることでも、また違った方法が見つかるのかもしれませんが。出会う世界を狭めるのも広めるのも、私達のとらえ方ひとつなのです。毎日素敵な出会いの連続に感謝しましょう。

来週の予定 第13週 7月4日～7月8日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
4日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
5日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
6日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
7日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
8日(金)	金①	金②	金③	金④	金⑤	金⑥	放課後

※3年DSコースは職場体験実習最終週

○新校舎への引っ越し初日、早速と言うか案の定機の脚が激突した大穴が階段の壁に！ごらんのような応急処置と相成りました。よかよか！一生懸命作業をした結果です。学校の主役は生徒の皆さんです。みんなでのびのびと使って少しずつ旧校舎のような味わいが出ていくことでしょう。



○体育館の屋根越しに見る立花山です。すっぽりと雲に囲まれてしまい、まったくその姿が見えません。しかし、見えないだけでそこには立花山が確かに存在しています。見えないことは、決して「ない」とは違うのです。気づいていなくても、そこに「ある」ものはいくらかもあるのです。特に人の気持ちなどは絶対に見えませんよね。推測する感性、大切です。



○朝ごぼう茶を入れてきた水筒、夕方の今もまだ十分に温かいのです。凄いなあ。魔法瓶とはよく名づけたものですよ。まるで魔法のようではないですか。当然のように身の回りに存在する様々なもの、実は魔法のような卓越した技術力の結果であるものはこれまたたくさん存在します。かつての大発見が後に常識になるなんて、本当に凄いことですよ。100年先は社会全体にパイルアップの考えが広がってるといいなあ…

今週のまる子ちゃん

幸せだから笑うんじゃないよ 笑うから幸せになるんじゃない
(笑顔って実は本当に難しいのかもしれませんが。笑顔の影の涙も大切です！)

短冊

七夕ですね。本校でも昨日教頭先生が一生懸命笹を準備して玄関に飾って下さいました。皆さんはどんな願いを書きますか？淡い願いから現実的な願望まできっといろんな願いがたくさんぶら下がるのでしょうね。もし短冊に書いた願いが確実に一つだけ叶うならば、皆さんは何をお願いしますか？途端に必死に考えますよね？願い事と現実的な要求は微妙に違うものです。

学校において、先生方は生徒にいろいろな要求をします。「こうしてほしい」「このように成長してもらいたい」と言う願いが、すべての教育活動の根底にはあるのですから当然です。本校は比較的その内容がゆるやかだとは思いますが、それでも何をしてもOKと言うわけにはいきません。やはり本校ならではの様々な制約の中での自己実現を願うわけです。

時にこの崇高なはずの生徒への想いが、大人の勝手な想いに差し替わってしまうことがあります。例えばあいさつ。生徒に他人にしっかりあいさつができる人になってもらいたいと先生方は誰しもが思うはずですが、時と場合によっては、「ここであいさつをしてくれなかったら先生の立場が…」などのように、大人は大人の事情で本来の願いと微妙に異なる価値観で物事を考えてしまいがちです。体裁はそれなりに気になるものです（笑）

何かを願うとき 誰のための願いなのかを 考えてみよう

「お母さんは恥ずかしい！」などのような怒られ方をよく耳にします。子どもは大人の顔をたてるために頑張っているのではないのです。誰かのために頑張ることはとても素晴らしいですが、エネルギーはまず自分のために使って良いものだと思います。そして余った力は惜しみなく誰かの役に立てれば素敵ですよ。短冊へのお願いくらいちょっぴり夢を見たいなあ。



来週の予定 第14週 7月11日～7月15日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
11日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
12日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
13日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
14日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
15日(金)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦

※2年生は水曜日56限は性教育。

- 2年生も3年生も職場実習本当にお疲れ様でした。これこそ誰のための行事なのか。先生たちがいくら困っても、それが君たちのためになる経験であるならば大いに結構です。たくさんの失敗は、先生たちにとっては先方に申し訳ない大変な事態でも、君たちにとって何かを学ぶきっかけになってくれているのならば、こんなに嬉しいことはありません。よな中にある仕事に合うように自分自身が成長することも、自分自身の現状にふさわしい仕事を探すことも、どちらも同じくらい大切です。わずか10数年の人生で、自分の一生を費やす仕事と出会わなければならないことは、とてつもなく大変なことですよ。焦らなくても大丈夫。自分で納得がいくようにしっかり時間を使って自分の人生と向き合みましょうね。失敗も成功も、すべてが「経験」なのです。よく頑張りました！
- 11日月曜日には、新校舎初めてのお互い様コミュニティが開催されます。地元美和台の方々との合同の会議で昨年度からもう何回も実施してきました。金曜日の午前中にはたくさんの地元の方々講師として授業に来て下さっています。何事も関係は「お互い様」だと思のです。地域の方々にもたくさんお世話になりますが、君たちのおかげで地域の方々も明るくさわやかな気分になって頂けるのであれば、この地にとって立花高校は宝物のような存在なんですよ。ご迷惑もたくさんおかけしています。でも君たちの存在は絶対にこの地にとってなくてはならない素敵な存在なんだと、私は信じています。だってかれこれ60年この地に存在しているんですよ？お互いが必要な存在だった証拠ですよ。

今週のまる子ちゃん

人間てのは物事全部覚えてたらかえって苦しくって生きていけないもんよ
(忘れてもよいことは是非忘れてしまいたいものですね)

パイルアップ

平成28年
7月14日
第14号
文責:校長

いいことありそう

美しい天気や景色と接すると、心までウキウキと何とも言えない爽快な気分になることがありますよね。ちょっぴり悩んでいた出来事に解決の糸口が見えたり、小さな願いが叶ったりすると、きっと次に訪れるであろう素敵な出来事を期待してしまいます。「何かいいことがあるかも!」と言う期待感に満ちた感覚は、平凡な一日をとってもドラマティックに飾ってくれます。

先日、ある知人が「いいことありそう!」とご機嫌でした。最近の大雨の隙間をぬって、見事な虹がかかっている瞬間をスマホで写してニコニコとご機嫌そのものです。そう頻繁に出会えるわけではない虹、美しさ壮大さに加えてその有り難味もより一層虹の神秘を増大させます。出会えただけでも次に何かいいことが起こりそうな気分させてくれる稀有な存在です。

よく考えてみると、ちょっぴり滑稽なことに思いませんか?だって、虹と出会ったその知人、もうとっくにご機嫌になっているではないですか。しかも次に何かいいことが起こるかもと思えるほど特盛のウキウキ感を味わっているのです。出会えただけでも素晴らしいうえに、美しいし、壮大だし、神秘的だし、もう言うことがないくらいの「いいこと」が起きているのです。

もっともっとと願う前に 既にあることにありがたの気持ちを

私は思わず「これがもう充分いいことだよ」と声をかけました。できないことを嘆くよりできていることを認めようと言う「パイルアップ」の考え方に似ていますよね。いいことありそうと思えることそのものが既にいいことだと思えることができたら、実は身の回りはいいことだらけなのですよ。もっともっとと思ったら途端に物足りない日常になってしまいます。平凡な日常がいかに幸せか。本当に有難い毎日です。



来週の予定 第15週 7月18日～7月22日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
18日(月)	祝 海の日 祝						
19日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
20日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
21日(木)	月⑤	月⑥	火⑤	火⑥	木⑤	木⑥	木⑦
22日(金)	金①	金②	金③	金④	大清掃	開講式	放課後

※20日56限は12年生は飲酒喫煙防止教室。

○体育館の渡り廊下の工事が急ピッチで進んでいます。炎天下、またはすさまじい雨の中、作業員の方々が汗びっしょりになりながら、雨でずぶ濡れになりながら本当に一生懸命工事をして下さっています。生徒の皆さんは授業に出なくても自らその責任を負えば済みます。もちろん出たくてたまらなくてもどうしても出れない人もいるでしょう。それはよかよか。出ないことをそのもの言っているのではありません。出れるのに出ないと言う選択をしている人に、少しずつ気付いてほしいのです。工事の方々が作業を手を抜けば、あるいは作業に出てきて下さらなければ、私たちはいつまでたっても体育館を使用することはできないのです。つまり自分の責任は誰かに影響を与える存在でもあるのです。この機会に校舎から工事の様子を見させて頂きましょう。今の在校生でしかその姿を見ることはできません。できあがったものをどれだけ大切に使えるかは、できあがる過程を目にした君たちだけしか、後輩に受け継いでいくことはできないのです。尊敬と感謝の気持ちをもって是非見て下さい。

○暑いですね。雨も降りますね。汗をかきながら、傘を差しながら登校してくる生徒の皆さんを見るだけで、胸が熱くなります。こみあげてくるものがあります。すごいことです。休めばよいのに。傘までさして来ることはないのに。校長としてこんなことを考えている私が間違っているのでしょうか?私は、決してそれを当たり前だとは思っていないだけです。本当にすごいことなんです。みんなよく頑張っていますよね。来れる来れないでもありません。とにかく全員がよく頑張ってます!

今週のまる子ちゃん

大切な人と過ごす貴重な時間 喧嘩なんてしたらもったいない
(喧嘩してもプラスになることはたくさんあります。でも確かにもったいないですね)

好奇心だけでなく

私の故郷宮崎県の自慢の一つに「美しい海」があります。太平洋独特の真っ青な海の美しさは、その壮大なパノラマとも相まって、より人々の心を惹きつけます。特に南北に10Km以上続く一ツ葉海岸は別格の美しさです。高校時代によく自転車を飛ばしては海の風にあたりにいったものです。

高校2年生の7月20日、私はこの美しい一ツ葉海岸でかけがえのない友人を失ってしまいました。中高6年間の一貫校の家族的な絆は特有のものがあります。彼を失った時の悲しみは、30年以上たった今でも正確に文章で表現することはできません。文字通り家族を失ったような大きなショックは、今でも癒えることなく私たち同級生の心に存在しています。

前日に市役所の方がたてかけた「遊泳禁止」の看板に自転車を立てかけて海へと急いだ私たちの行為に弁解の余地はありません。ただ、私たちは決して反社会的な行動をとる集団ではありませんでした。夏休みの解放感に踊る心を抑えきれない、好奇心いっぱいの健全な高校生だったと思っています。しかしその安易な行動の招いたあまりにも大きな失敗は、一生かかっても償えるものではありません。悔やんでも悔やみきれない想いは消えません。

ダメと言われる窮屈さも 命を守るシートベルトと同じなのかも

泣いて謝る私たちに、お母様は「あの子の分まで頑張ろうと思わなくていいのよ。あなたたちはあなたたちらしく生きてね」と優しく声をかけてくれました。あれから30年以上、彼の分まで頑張れるほどの余裕はありませんが、せめて彼の17年の人生の意味を生徒たちに伝えることが私の使命だと思っています。好奇心を大切に。しかし、好奇心を抑える理性があってこそ、好奇心は君たちの未来で輝けるのです。



来週の予定 第16週 8月29日～9月2日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
29日(月)	夏休み ラスト3日						
30日(火)							
31日(水)							
1日(木)	大清掃	開講式	防災指導	放課後			
2日(金)	金①	金②	金③	金④	火⑤	火⑥	放課後

○夏休み期間中、多くの集中講義が計画されています。本来夏休みは休むためにあるものです。休むことに目的は必要ありません。とにかく体と心は無条件にゆっくり休めて欲しいと願います。生徒の皆さんの日頃の頑張りや、単位数だけで語れるものではありません。単位がとれたとれなかったに関係なく、夏休みはゆっくり充電すれば良いのです。夏休みの集中講義は、それでもなお「学びたい」と言う気持ちに答えるためであって欲しいと思うのです。少しでも単位数を増やしたいと願う気持ちを否定はしません。それはそれで尊い考え方ですが、それ以上に「学びたい」「知りたい」「成長したい」と言う意欲こそが、何よりも素晴らしいと思うのです。暑い中わざわざ学校に出てきて勉強するのは。単位数だけでなく、何か素晴らしいものを得て欲しいと心から願っています。

○学校近くの公園で本校生徒の喫煙が問題になっています。もちろん喫煙行為そのものがいけないことですが、私はそれ以上にこんなにも温かく本校を包んで下さっている地域の方々に悲しい想いをさせてしまっていることが残念でなりません。私が校長として地域に胸を張れる一番の自慢は、生徒の皆さんの「心のやさしさ」です。問題行動を起こさないことが素晴らしいと言っているわけではありません。問題行動を起こしてもそれで成長できるならそれでも良いと思っています。学校の体裁もどうでも良いです。とにかく生徒の皆さんには、誰かの思いやりに気づくことができる温かい心の持ち主であって欲しいのです。炎天下井上憲生先生が吸い殻の後片付けをして下さいました。自分で気づいて欲しいなあ。

今週のまる子ちゃん

今日の空がこんなに青かったなんて 今まで気がつかなかったよ
(既にあるものに気づいていないことって多いですね。有り難いなあ。)

すでにあるもの

今日と言う一日を待ち望んでいました。大好きな生徒の皆さんと会えない夏休みは本当につまらないものです。と言いつつ、以前よりもうんと集中講義等が企画されて、いつも皆さんの笑顔と声が校舎に満ちていました。それでもやはり今日は格別です。みんなに会いたかった！

さて、今日はある卒業生のお話をします。2年前に本校を卒業した清原翔太先輩の雄姿をご覧ください。彼は幼いころにお父様と一緒に山に山菜を取りに入ったことが原体験となり、今は山岳ガイドを目指して新潟県にある国際自然環境アウトドア専門学校に進学して一生懸命頑張っています。ある山岳専門誌の今月号では、何と彼のインタビュー記事まで掲載されています。そんな彼がわざわざ新潟にまで進学する決心をしたきっかけとはいったい？



それは、本校での立花山登山だったそうです。1年生の時に頂上であまりゆっくり景色が見れなかった彼は、数日後にたった一人でもう一度立花山に登り、あまりの美しい景色に感動し、一気に山への興味が開花したのだそうです。それから彼の夢はぶれることなく、わざわざ新潟県の専門学校にまで進学し、今は地元に戻って山岳ガイドをしたいという夢を持っています。

人生を変える素晴らしい経験 それは既に君の近くにあるのかも

学校行事の中には嫌で仕方なく参加するものもあるでしょう。しかし、そんな何気ない一場面一場面も、ひよっとしたら君たちの一生を変えるような素晴らしい何かを持っているのかもしれない。そこで何を経験するかではなく、経験した中から君達自身が何に気づくのが問われているのだと思います。双眼鏡を手に遠くばかりを眺めても足元は見えません。今あるものに感謝して有り難く毎日を過ごしていきましょう！清原先輩かつこいいわあ。

来週の予定 第17週 9月5日～9月9日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
5日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
6日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
7日(水)	水①	水②	水③	水④	月⑤	月⑥	月⑦
8日(木)	唯や！ 期末考査やん！						
9日(金)	やっぱり期末考査やし…						

○別紙でご案内の通り、本日より新校舎の学食「mama's café」が仮オープンします。開講式でも紹介しましたが、皆さんのおいしいご飯を作ってくれる調理士さんは大平良枝さん。皆さん気軽に「ママ」と声をかけてみて下さいね。mama's caféは一般の方々も利用できるカフェとして常に立花高校の中に地域の皆様に足を運んで頂こうと考えています。常に地域の方々と一緒の空間で生活できることは、生徒の皆さんにとっても大変ありがたい学びの場になると期待しています。みんなで正しく利用して行きましょうね。保護者の皆様も、お気軽にお立ち寄り下さい。

○歴史的場面に立ち会うことになりましたね。今日の開講式、本校59年の歴史の中で初めての体育館での実施です。かつてなかったものがこうしてあることを「有り難い」と感じる心がとても大切です。来年・再来年とこの状態が少しずつ「当たり前」になっていくのですから。これを当たり前で済まされてたまるものですか。59年の想いがつまっているのです。暑い中必死に作業して下さった作業員の方々のご苦勞の塊なのです。あることが当然ではない、だからこそ有り難いのです。そう思えば、今日君達が登校してくれたことも、登校できなくとも自宅でこのパイルアップを手にとって見てくれる在校生の存在も、すべてが本当にありがたいことです。君たちが先生と呼んでくれるから、私たちは先生でいられる…毎日が「先生記念日」です。本当に幸せです。さあ、今日からスタート！と肩に力を入れる必要はありません。今ここからできることにゆっくりのんびりいつも通りパイルアップしていきましょうね。

今週のサザエさん

つらいのはちゃんと向き合っている証拠 怖いのは進んでいる証拠よ
(そうなんだ。ならいいや。私だってつらいし怖いし。でもこれでいいんだ！)

昔も今も

今から数十年前の恐らくアメリカの写真です。何しろ写真そのものが古いので随分わかりにくかと思いますが、ズラリと並んだ方々が、皆さん新聞を読んでいます。手前から奥までたくさんの人がものの見事に同じポーズで新聞を覗き込む姿は、何か滑稽な感じがします。このような文化が当時の流行だったのでしょね。



いつの時代にも流行があります。短い期間の流行も、やがて文化として時代の流れの根幹をなしていきます。例えばビートルズ。当時エレキギターやエレキベースになじまなかった大人たちはビートルズを批判的に見ていました。まさか50年後の音楽の教科書に彼らのが掲載されようなどとは夢にも思わなかったはず。新しいものを認めるということは勇気がいるのです。自分の感覚が「古い」と否定されてしまうように感じてしまうのでしょうか。

極論ですが、小野小町の写真集があれば当時相当売り上げたでしょうね。飛鳥時代に新幹線があれば聖徳太子は全国各地への出張が大変だったことでしょう。織田信長が携帯電話をもっていれば、明智光秀の謀反を事前に察知することもできたかもしれません。かつてなかったものがいつの間にか出現し、私たちの生活を支える主役となって、やがて引退していくのです。

最近の若者は…今の先輩はかつての若者 今の若者はやがて先輩

冒頭の写真、新聞をスマホに変えるだけで、それは完全に現代の写真になるはず。通信手段が変化しているだけの話。若者たちの感覚に私たち大人がついていけない感覚を持つことは、至って正常な反応なのかもしれません。だって、かつてなかったものを使いこなしているのですから。でも、実は物が変わっているだけで構図は意外と変わっていないのかもしれない。

来週の予定 第18週 9月12日～9月16日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
12日(月)	期末考査 3日目						
13日(火)	期末考査 最終日 (2年次進路説明会③④)						
14日(水)	火①	火②	火③	火④	校内漢検	水④	水⑦
15日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
16日(金)	ピクニック大会						

○校舎が新しくなって様々な変化が生じています。予想通りのものから意外なものまでいろいろと変化はあるのですが、中でも一番びっくりしたのが「電気代」。7月1か月だけで昨年7月の何と4倍！便利になりすぎてつつい贅沢になってしまったのかもしれないですね。生徒の皆さんに指導する前にまずは先生たちから！と言うことで、昨日職員室は冷房を入れずに我慢しました、窓から入る風も中々心地良いものです。生徒の皆さんも、ちょっとした節電に協力してくださいね。誰もいない教室に気づいたら消す、だけでも立派な貢献です。何事も誰かがやるものではなく、気づいた人がその人なりに取り組む力が一番の力なのです。

○「健康食品」の類の広告が目につかない日はありません。健康食品に限らずとも、広告は広告です。目を引く素晴らしい効果が派手にアピールしてありますが、それを信じるかどうかは私たち消費者の判断に委ねられているのです。そうなんですよ。私たちがどうなのかを判断すれば良いだけの話で、そのような宣伝広告を進んで批判する必要もないのかもしれないですね。私も長らく様々な広告の効果に期待しながらいろいろと試してみましたが、中には本当に効果が実感できる確かなものもしっかり存在していました。合うか合わないかは人によって違うのです。いずれにしても無理強いはいりませんよ。大人は良かれと思って子どもたちにいろいろと提案します。肝心要の子どもたちにとってそれがどうなのかを常に冷静に判断したいものですよ。食品の話に戻りますが、最近「黒にんにく」の効用を実感しています。おすすめです。

今週のサザエさん

「疲れた・忙しい」という言葉は「頑張った・充実してる」に置き換えなさい
(ついでに「ため息」も「深呼吸」に切り替えてみましょう！)

パイルアップ

平成28年

9月15日

第18号

文責:校長

いいね!

校舎エントランスから上階への階段に「今日のいいね!」と言うコーナーが新設されています。先生方が校内を散策し、「いいなあ」とほっこりした場面をリレー形式で発表していく企画です。最近ここをのぞくのが楽しみでたまりません。少し小さい写真で見にくいのですが、これは9月6日火曜日のいいね!です。

新体育館

ボールを追いかける

今まで見せなかった

眩しいほどの笑顔でナイスシュート!

そしてひとり黙ってコートにモップをかけて戻っていった。

大切にしてくれてありがとう!!

新体育館で、一人でバスケットに興じていた生徒のことを書いているのですが、最後の「大切にしてくれてありがとう!!」の一文に、不意に涙が出そうになりました。立花高校の先生方が絶対に見失ってはならない理念が、この一文には込められているのです。生徒が体育館を大切に使うことは当たり前? 誰に強制されるまでもなく、モップをかけることが当たり前? 冗談じゃない。何気ない行動のすべてを「当たり前」で済まされてしまってたまるものですか! 問われているのは、子どもたちがどれくらい頑張っているかではなく、一人一人の小さな頑張りに大人がどれだけ気づけているかだと思うのです。決して当たり前ではない、だからこそ「有り難い」のです。

「いいね!」に気づける感性こそが 何よりも「いいね!」

大人は次々に子どもに要求を出します。そりゃそうです。願いをあげたらきりがありません。ならば、その要求にこたえようと努力する子どもたちの日常を、当たり前で済ませてしまってはなりません。どんなに素晴らしい行為も、それに気付く人がいてこそ初めて素晴らしさが認められるのです。できたことをしっかりと認めることは、子どもたちへの大人のせめてもの敬意だと思うのです。自分も他人もお互いに認め合う価値感、大切にしたいなあ。だって大人たちだってみんな毎日一生懸命に頑張っていますもんね!

来週の予定 第19週 9月19日～9月23日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
19日(月)	祝 敬老の日 祝						
20日(火)	火①	火②	火③	火④	三者面談・追試補講期間		
21日(水)	水①	水②	校内英検	水⑥	三者面談・追試補講期間		
22日(木)	祝 秋分の日 祝						
23日(金)	金①	金②	金③	金④	三者面談・追試補講期間		

○敬老の日ですね。私が生まれた時には、既に父方も母方も祖父祖母は全員他界してしまっていました。しかし私には共働きの両親に代わって生後40日から私を育ててくれた自慢の「ばあちゃん」がいます。血はつながっていません。でも「愛」の尊さの前では血縁など関係ありません。幼い私を慈しみ愛しぬいてくれた大好きなばあちゃん。亡くなって9年が経ちますが不思議と寂しくはありません。だって、確実に私の中にばあちゃんの愛が生きているのを感じるのです。愛ってすごいですよね。姿かたちは見えなくても、瑞々しく私を支えてくれているのです。「ある」か「ない」かではありません。気づいているかどうかです。敬老の日。今の自分につながる生命の尊い連環に、想いを寄せてみましょう。感謝感謝。

○月曜日の夕方、職員室から教頭先生の絶叫が! 慌てて駆けていくと窓から見える大きな素敵な虹に大感動の先生方の姿がありました。まあはしゃぐはしゃぐ。虹ひとつで大騒ぎの我々がおかしいのか? いやいや、少年の心を忘れない、素敵な大人でありたいだけです。私達はでっかいでっかい子どもでありたい。癒された放課後でした。



今週のサザエさん

自分が何もできないときでも、誰かを応援することはできるわ!

(見返りを求めなくても、無償の想いは必ず自分に返ってきます)

暗譜

演奏会では楽譜を見ずに「暗譜」で臨む機会が多くあります。特に独奏などはお客様をしっかり見据えて堂々と演奏する方が、楽譜にかじりつきになるよりよほど伝わるものがあるのです。もっとも、形態に関わらず、常に暗譜できるくらいしっかり練習して本番に臨む姿勢が大切なことは、言うまでもありません。



先日とある合唱のコンクールで、ご年配の方々「楽譜を覚えることも一苦労」と言うことで、手に手に小さな楽譜を握りしめてこっそりと見ながら歌っておられました。申し訳なきように目を落としながら歌われる姿が、可愛らしくもあり、大変気の毒でもありました。悪いことでもなんでもないはずなのに…堂々と楽譜を見て歌われて大いに結構だと思ったのです。

楽譜が覚え辛くなることは、正しく年齢を重ねられた証拠ではないですか。人間はかつてできなかったことができるようになっていき、それがやがて少しずつできなくなっていくのです。それをネガティブにとらえるより、一生緩やかに成長しているだけだと考える方が私はしっくりくるのです。人間には老いる権利があるのです。決してそれはマイナスではありません。

出来ないことがあるからこそ お互いに助けあうことができる

母が亡くなる前、「当たり前」だと思っていたことが、次々と当たり前ではなくなっていきました。「しっかりしてよ！」と口調が強くなっていたことに気づいた私は、「母にとっては出来ないことが当たり前」だと思い直し、母への態度を改めました。それからの日々は、一生忘れることのできない穏やかな美しい日々となって今でも色あせることなく私と亡き母をつなげています。「できないことを嘆くよりできていることを認め合おう」と言うパイルアップの精神は、大人の私たちにとってもすごく大切ですよね。

来週の予定 第20週 9月26日～9月30日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
26日(月)	月①	月②	月③	月④	三者面談・追試補講期間		
27日(火)	月⑤	月⑥	大掃除	終業式			
28日(水)	祝 第60回卒業証書授与式						
29日(木)							
30日(金)							

○「ちょうど良い」季節になって参りましたね。ついこの間までは扇風機やクーラーなしではつらい毎日でした。やがて間もなく暖房なしではしんどい季節がやってきます。東の間の快適な日々です。なんでもそうですよね。待ち望んだ「ちょうど良い」と言う心地良さは、短くはかないものです。環境に対し、私たち人間は「もっと良い」ものを求めてしまう生き物です。いや、人間に限ったことでもないのかもしれないね。しかし人間が最もそれを求める生き物のような気がします。求めようが求めまいが間もなく寒くなってきます。雨も降れば風邪をひくこともありましよう。「身をゆだねる」ほど私は達観しておりませんが、最近ちょっとだけそんな心境がわかるような気がしています。気のせいかな？

○台風が去った途端、校長室から本当に気持ち良い麗らかな景色が広がっています。しかも、虫さん鳥さんの合唱つき。彼らは台風のときは、どこにどうやって逃げているのでしょうかね？逃げたら恥ずかしいとか絶対考えていないはず。一目散逃げ、脅威が去ったら何事もなかったかのような大合唱。かくありがたいものですね。心地良い風です。



今週のサザエさん

時代のせいばかりにして 自分と向き合うことから逃げるのはやめなさい！

(何事も決断するのは自分自身。誰のせいでもありませんよね。)

立花高校学校通信	平成28年 9月27日 第20号 文責:校長
----------	--

パイルアップ

落

落第、落球、落石、落ち武者…とかく「落ちる」と言う漢字は、あまり良いイメージでは使われないものです。人間は無意識に上にあがるものをよしとし、下にさがるものに良い印象をもたない、そんな先入観を持っているのではないのでしょうか。果たして本当にそうなのでしょうか？

昨日、ある卒業生が学校に遊びに来てくれました。彼女は本校卒業後進学した後に、今は県外に就職し一人暮らしをしながら懸命に働いています。そんななけなしのお給料から、わざわざお土産を買ってきてくれた優しさが身に染みしました。今は立派に社会人として歩んでいる彼女、実は就職に際し、第一希望だった会社に落ちてしまい、失意の時期があったそうです。

本人はもちろん、ご両親も大変ショックだったそうですが、その時にお母様のかけて下さった一言が彼女を力づけたそうです。「落ちてよかったね。そのまま合格するよりも、貴重な経験ができてよかったのよ」と。もちろん合格した方が良いに決まっています。だって、それを望んでいるのですから。しかし、少なくとも出た結果は望まないものでも、その結果を受けてどう感じるかは、私たちの感じ方に委ねられているのです。結果は○×の二つに一つしかなくても、そこに至る過程には無限の意味が込められているのです。

出た結果より 結果をどうとらえるかを大切にしよう

思わぬ結果に直面した時に、心から落ち込む権利も、乗り越えて前に進む権利も同じように私たちには与えられているのです。落ちたかどうかではなく、出た結果から何を学びどう生かすのか、そう考えると、身の回りは成功体験ばかりなのかもしれません。それに、ずっと上に上にあがってばかりだと、いつか行き詰ってしまうかもしれません。逆方向に進むことは、とても大切なことなのですよ。アコーディオンだって、伸ばしっぱなしでは必ず壊れてしまいます。伸ばしたら必ず縮むのが自然の摂理。うまくいくことばかりより、失敗も同じように重ねる方が、よほど自然の形なのです。

来週の予定 第21週 10月26日～9月30日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
3日(月)	うろ…秋休み最後の日や…						
4日(火)	大掃除	始業式	HR	放課後			
5日(水)	光輝祭準備				祝 第63回入学式		
6日(木)	光輝祭準備						
7日(金)	光輝祭準備						
8日(土)	光輝祭準備						
9日(日)	第19回 立花光輝祭						

○昨日生徒とある約束をしていたのですが、私の急用でどうしてもそれを延期せざるを得なくなりました。とても大切な約束でした。しかし急用もどうしようもない案件です。私は正直に謝りました。許してくれないかもしれないなあと不安に思いながら一生懸命謝ったところ、彼女はちゃんと許してくれました。心からホッとしました。許すってこんなにも人に安心感を与えるものなんですね。人間思わぬ失敗をおこしてしまいます。謝る気持ち、許す気持ち、どちらも本当に大切です。私も寛大な大人でありたい。許せる優しさ、許せる強さを持ちたいなあ。

○体育館の壁面に本校のイメージキャラクターが描かれました。3年前に、ゆるキャラ総選挙で選ばれた「たー先生」が「ちーちゃん」を背中におぶって坂道を登っています。皆さんはこの絵にどんな意味を感じますか？先生方が込めた想いはあります。しかし、毎日目目にしながら何かを感じるであろう皆さんの感性に意味を託そうと思います。



今週のサザエさん

人を嫌うときくらい、一人で嫌いなさい！

(これは明言だ…誰かどつるまないと悪口も言えないなんて本当に愚かですよ)

パイルアップ

平成28年

10月6日

第21号

文責:校長

Only

1, 2, 1, 2…まるで行進曲の掛け声のようですよ。実はこれ、私が中学生の時の通知表の評定なのです。課題も一切提出しない、授業中も寝てばかりの私には、至極当然の結果でした。宿題に取り組もうにも、全然わからないので空欄だらけ、それがばからしいので未提出、未提出の宿題を補うための補習は、存在そのものを忘れてしまう…聞いてもわからない授業は自然と寝てしまう。一切悪気はありません。それが精一杯の結果でした。

そんな私でも音楽だけは常に高い評価を頂いていました。幼い頃から音楽は大好きだったのです。別にとりたてて得意ではありませんでしたが、とにかく大好きでした。音楽しか取り柄がない私には、音楽以外には一切意欲を感じることができず、冒頭のような結果へと直結していったのです。将来の進路も漠然と「音楽関係」を夢見るようにはなりましたが、具体的に何をどうすればいいのか、日々の行動は何ら変化は見られませんでした。

しかし、当時の先生方、両親は、私が音楽にどっぷりと浸かれる環境を整えてくれました。音楽だけは不自由なく存分に味わうことができたのです。いつしか、「音楽しかない」ネガティブな状態だった私は、「自分には音楽がある」と、胸を張れるようになっていきました。すると「音楽関係」と漠然としていた将来の夢も「音楽の教師」、しかも「自らも趣味として楽器の演奏がしたい」と具体的にイメージできるようになり、結果、あんなに遠ざけていた勉強にも身が入るようになっていったのです。

たった と思うその一つこそ かけがえのない一つなのかも

既にあるものに感謝する気持ちがなければ、「有り難い」という感覚は生まれません。音楽だけではなく、「音楽があるよ!」と励ましてくれた先生方や両親のおかげで、今の私はここにいます。生徒の皆さん、君たちに既にあるものにどうか気づいて下さい。他者と比べてどんなに小さな「たった一つ」であっても、それが君たちの人生を大きく切り拓いてくれるのです。

来週の予定 第22週 10月10日～10月14日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
10日(月)	祝 体育の日 祝						
11日(火)	全校集会・光輝祭後片付け		火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
12日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
13日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
14日(金)	金①	金②	金③	金④	校内漢検	金⑥	金⑦

○「そんなことも知らんのね!」とよく言ってしまう大人たち。知っていることが当たり前と思えばこそ出てくる発言です。知っていることが当たり前ならば、私たちは生まれた瞬間に人生で必要な知識をすべて知っていなければなりません。そんなバカな(笑)。どんな知識であれ、どこかの瞬間で知らなかったことが知っていることに変わる瞬間が必ずあるのです。例えば体育の日の由来。2000年から10月の第2月曜に制定されましたが、もともとは1964年10月10日に東京オリンピックの開会式が行われたことを記念して制定された祝日です。当時まだ生まれていなかった私たちには、知らないことがごく当たり前。何事も、相手が知らないことを驚く暇があれば、そこで教えてあげれば素敵ですよ。

○新校舎初の、いや本校59年の歴史上初めて、自校体育館での卒業式が行われました。別れを偲びしとしと降り注ぐ趣のある素敵な雨の中、22名の先輩方が本校を巣立ちました。壇上から見る体育館の光景はどこか不思議なものでしたが、中身は旧校舎5階講堂と何ら変わらない温かい式でした。卒業生に恥じない営みを守り続けていきましょう。



今週のサザエさん

損得勘定だけで生きる人間には それ以上の見返りなんてないわ!

(生徒の皆さんわかるかなあ? 大人でも損得で判断する人多いもんなあ。)

パイルアップ

平成28年

10月13日

第22号

文責:校長

排

車はエンジンの力で動きます。そのエンジンは、エネルギーを燃焼させて動力を生み出します。燃焼させるための原料として、ガソリンであったり軽油であったり、最近では電力と言うものが必要になるわけです。エネルギーなしに動力を得ることはできません。エネルギーが動力に代わる過程で無用になった物質が必ず排出される、何事もこの摂理に逆らうことはできません。

人間だってそうですよね。呼吸で酸素を取り入れて二酸化炭素を排出します。食べ物や飲み物も、尿や便となって必ず体外に排出されます。万物は、必要なものだけでは成り立たないのです。必ず不必要なものと一緒に必要なものがもたらされるのであるならば、不必要なものもある意味必要だと考えることができます。つまり、不要なものなど存在しないのです。

目に見えるものはこの循環のシステムを認識しやすいのですが、目に見えないものはなかなか同じ節理で成り立っていることが理解できないものです。例えば人間の心。心が体を動かす動力として「元気な気持ち」を生み出すためには、エネルギーとして心の潤いが必要です。友達が存在であったり、美しい景色や音楽、素晴らしい絵画や文学等から得られる刺激や感性、日々の何気ない瞬間に感じる「幸せな気持ち」等は、貴重なエネルギーだと言えましょう。ならば排出する行為も同じようにすごく大切なはず。苦悩からもたらされるため息や涙は、しっかりと体外に排出すべきなのです。

出すべきものを 我慢と称してためこんではいけないだろうか

日本では弱音を吐くことを良しとしない教育が美德とされてきました。もちろんそのような強さもとても素敵です。しかし、ハイブリッドカーのように排出物を極端に減らした車と違って、人間は感情を持っているのです。適度に排出しなければ、循環のバランスは保てません。弱音も涙も愚痴もため息も、全部必要な行為だと思うのです。我慢強いことだけでなく、必要な弱音が吐ける勇気も、同じように大事にしたいものですよね。両方大切です。

来週の予定 第23週 10月17日～10月21日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
17日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
18日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
19日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
20日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
21日(金)	金①	金②	金③	金④	校内英検	金⑥	放課後

○光輝祭のオープニングを飾る書道部の様子です。まさにこんなイメージを夢見て中庭の形状にこだわりました。校舎をきれいにマナー良く使って欲しいと言う願いが当然あります。しかしそれ以上に、心地良く使って欲しいと願っています。必要なマナーをしっかり守りましょう。でもそれ以上に温もりや温かさこそ、一番大切にしてほしいなあ。



○いよいよ後一週間で、グラウンドや外溝部分のすべての工事が完了し、施工側の松尾建設様より本学に全施設が引き渡されます。約1年と半年に及ぶ事業が完了するのです。その落成を祝って、11月2日には全校生徒参加のもと、150名以上のご来賓の方々にご臨席を賜り、落成記念式典を体育館にて挙行致します。来賓の方々が口々におっしゃること。それは「生徒の皆さんを見るのが楽しみです」と言うことです。建物のお披露目ではありますが、お客様は決して建物を見に来られるのではありません。皆さんが楽しみにしておられるのは「営み」です。入れ物がどんなに素晴らしくても、中身が伴わなければ魅力は半減します。君達だってそうでしょう。誰もが胸を張れる素晴らしい立花であるかどうかは、一人一人の毎日の積み重ねにかかっています。誇りを持ちましょう。

今週のサザエさん

物事があまりに複雑になりすぎた時は 正しい質問だったか問い直すべきよ
(行き詰ったら、難しく考えすぎないでシンプルにとらえてみましょう!)

パイルアップ

平成28年
10月20日

第23号

文責:校長

命

6階の進路コミュニティ室に新しいメンバーが加わりました。月曜日の朝、1年生が見つけた子猫ちゃんです。進路の徳久先生に相談があり、里親を見つけるまで進路コミュニティ室で預かることになりました。徳久先生は、学校で猫を預かるかどうか、一瞬躊躇したそうです。しかし、その命の重みを考えて、預かった上で病院まで連れて行き、写真のようなゲージを準備して責任を持って預かる決断をされたのでした。



本校では徳久先生と濱本先生が中心となって「命のつなぎ方」という授業を開設しています。殺処分になる運命の犬や猫をひきとって里親を探す活動をしておられる方に講師として来て頂いて、その命の尊さ、命をどうつないでいくのか、本当に大切な学習をしています。安心してスヤスヤと眠る子猫を見ていると、その命の愛しさがひしひしと伝わってきます。学校として正しい判断がどこにあるべきか、命の大切さの前に他の判断基準はありません。立花の生徒達には、命を選別するのではなく、かけがえのない命をつないでいくことの尊さを感じる感性を育てて欲しいと心から願っています。

命が大切ことは 知識としてではなく 行動で理解して欲しい

「心を育む」ことは、文字で表せるほど単純なものではないと思います。理想だけでは語れない重い命題だからこそ、立花高校は生徒達の心を育てる教育を掲げていきたいのです。好奇心あふれる高校生の集団です。毎日たくさん失敗を重ねてしまいます。それでもどうか心の美しい温かい人柄を育てて欲しいなあ。一匹の猫の命を軽んじない感性から、他人を傷つける酷い言葉が発せられるはずがありません。みんなで協力して、この子猫ちゃんが安心して暮らすことができる里親さんを探しましょうね。既に病院で諸検査をしたうえで、ゲージの中での活動です。どうかご理解下さい。

来週の予定 第24週 10月24日～10月28日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
24日(月)	月①	月②	月③	月④	生徒総会	放課後	
25日(火)	火①	火②	火③	火④			
26日(水)	水①	水②	水③	水④			
27日(木)	木①	木②	木③	木④			
28日(金)	金①	金②	金③	金④			

○台風の影響で延期になっていた東区花火大会が、実行委委員の方々の並々ならぬご尽力のお蔭で、先週土曜日に無事に開催されました。本校も校舎を解放し、地域の方々に大変喜んで頂きました。新校舎の竣工を我が事のように喜んで下さる皆様の様子を見ていて、つくづく地域の理解に恵まれている学校だと実感しました。本当に感謝感謝です。



○お隣和白丘中学校の合唱コンクールの審査員を務めて参りました。今年で11回目の審査です。泣きました。ぼろぼろと涙があふれました。素晴らしかったです。クラス全員で合唱の練習に取り組む、足がガクガクと震えながらも人前で歌う…どれも本当にすごいことですよ。それを当たり前で済まされたらたまったものではないという話を、講評で全体に話しました。頑張ったことには、ストレートに「よく頑張ったね!」と言える大人でありたいと思います。和白丘中学校と言う、本当に素晴らしい学校が隣にあって、私たちは幸せです。近くにあれば、お互いに腹が立つこともあるでしょう。それでも敬愛の念をお互いに大切にできる学校同士でありたいですよ。君達も地域の一員です。自分の頑張っている姿を堂々と和白丘中の生徒たちに示せる高校生でありましょう。

今週のサザエさん

この世には逃げるっていう戦い方もあるの 一番よくないのは動かないこと
(逃げてもいい。もっとも大切なものを迷わず守りましょう!)

パイルアップ

平成28年
10月27日

第24号

文責:校長

杵

先週の金曜日、井上先生率いるワークトレーニング班の生徒達が、早くも餅つき大会の準備に取り掛かっていました。杵を一本一本研磨して、安全にお餅がつきあがるように丁寧に丁寧に作業を続けていました。長年先輩方が使い続けてきた伝統の杵、このようにしっかり準備しないと木屑が混入してけがにつながりかねません。毎年こうして準備をつんで当日を迎えるのです。



物事は「施す側」と「施される側」の関係性で成り立っています。例えば食堂。食事を食べてくれる人たちがいるからこそ、食事を作る人たちの苦労は報われます。逆に食事を作ってくれる人たちの苦労のおかげで、食事をとる人も満足することができるのです。どちらか片方だけに決定的に損得が傾くことはあってはならないのです。「ごちそうさま」「有り難うございました」と言うお互いがお互いを尊重する言葉のキャッチボールは本当に素敵です。

こんな餅つき大会の準備、知らなければ感謝の気持ちも持ちようがありませんよね。感謝とは、そこにある何かに気づいてこそ初めて湧き上がる感情なのです。強制されるものではありません。自分自身が有り難いと感じれるからこそ、そこにあることが尊いことだと気づいていけるのです。

「ある」か「ない」かではない 気づくか気づかないか

餅つき大会の当日に、目の前にある一本の杵を見て、君たちがそこに杵があるまでの準備段階を想像する力があれば、当日たくさんのありがとうの輪が広がることでしょう。事実を理解する理解力も大切です。でも、見えない何かを想像する想像力が、はるかに人生を飾り人間性を育んでくれると確信しています。既にある有り難い何かに気づける君達であって欲しい。

来週の予定 第25週 10月31日～11月3日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
31日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
1日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
2日(水)	新校舎落成記念式典			生徒完全下校			
3日(木)	祝 文化の日 祝						
4日(金)	光輝祭代休						

○来週水曜日に新校舎落成記念式典・祝賀会が本校体育館で举行されます。平日にも関わらず200人以上のご来賓の方々が本校の新しい門出をお祝いに駆けつけて下さいます。遠くは姉妹校であるタイ王国プラモチ校のロン校長先生、徳之島からもお二人の保育園の園長先生、近くは地元和白丘や美和台の方々までこんなにたくさんの出席のハガキが届いています。地域の方々がこんなに気軽に駆けつけて下さる学校は、そうたくさんはないでしょう。このハガキの山を本当に誇らしく思います。生徒の皆さん、落成記念式典では、自分たちがどれだけ愛されているかを実感できる素敵な時間をすごしましょう。たくさんの応援団に恵まれた君たちは幸せです。



○めっきり寒くなってきましたね。今年もちゃんと冬が来る…地球に感謝ですね。つつい私たちは温かい冬を望みます。夏は暑すぎず、雨は適度に必要な時に降って、雪も風情のある程度で…まあ何と人間の自己中心的なこと。暑い夏にだらだらと汗を流し、寒い冬にこごえて丸くなる日本の四季に感謝しましょう。地球はまだ優しく動いてくれています。

今週のサザエさん

批判されておめでとう 違うステージに立ったことを誇りに思いなさい
(知らないステージだから批判もできるのです。わかっていれば批判などできません)

パイルアップ

平成28年

11月7日

第25号

文責:校長

愛

2日に挙行された新校舎落成記念式典&祝賀会。本当に素晴らしかったです。何が素晴らしいか…もちろん君達、そう本校の生徒達の、自然体ながら襟を正して儀式に臨む凛とした立ち振る舞いの何と光り輝いていたことか。それを先生方が強制した記憶はまったくありません。私たちは君たちを信じていましたし、例えどんな態度であってもそれがこの学校の本当の姿、私はその本当の姿をお客様に見て頂くことこそ、この式典の最大の意義だと考えていました。生徒の皆さんは、学校の評価を高める道具でも、先生方の顔をたてる道具でもありません。主役は生徒なのです。主役の皆さんが自主的に式典の意義を理解し、自らの感性でしっかりと臨んだこと、これに勝る喜びはありません。愛すべき生徒達を本当に誇りに思います。

それ以前に、わずか1~2時間程度のためにわざわざ登校してきてくれたことも、当然だとは思っていません。来た上に、ちゃんとブレザーを着て式典に参加し、長時間の内容にじっと耐え、壇上に人が経つたびに頭を下げ、校歌を歌い…そのすべてが心に響きました。最後に壇上から生徒の皆さんと目が合った瞬間、涙をこらえることができませんでした。なんて健気な純粋な生徒達なんでしょう。あまりに美しい君たちの姿でした。もちろん美談だけではありません。日々多くのトラブルも起きますし、判断に迷うことばかりです。でもそれらもすべて君たちが成長している証です。良いことも悪いことも、得意も失意もこえてひたむきに生きていく学校でありたいのです。

「やりなさい！」より「よし、やろう！」決めるのは子ども自身

生徒の皆さん、君たちのことが愛しくて愛しくてたまりません。来賓の方々から頂いたお褒めの言葉はすべて君たち自身に向けられた言葉です。できていないことに目を向けるのではなく、できていることに胸を張り、自信を持ちなさい。君達には社会をおおらかにかえる不思議な魅力があるので。もちろん式典に参加できなかった人たちも、足が止まって苦悩の時をすごしている人も、みんなが愛しい立花の生徒達です。みんな愛しています。

今週の予定 第26週 11月7日~11月12日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
7日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
8日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
9日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
10日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
11日(金)	金①	金②	金③	金④	金⑤	金⑥	放課後
12日(土)	水①	水②	水③	水④	放課後		

※12日土曜日は参観日。来週月曜日14日が代休

- 落成記念祝賀会で素晴らしい演技を披露して下さった黒龍武術団の「椅子頂」の演技の写真です。わかりにくい写真で申し訳ありませんが、6個の椅子を積み重ねてその頂上で演技をする代表の高取君、本校の卒業生です。今やひっぱりだこのアーティストである彼も、かつては君たちのように様々な想いと向き合ってきました。ここまで上り詰めた彼の努力に最大の敬意を表しますが、彼だけでなく自分なりの一歩を刻もうと苦悩する人たちの小さな一歩も、同じように賞賛したいです。在校生卒業生を問わず、残した結果の素晴らしさだけを評価するのではなく、日々の営みのすべてを認め合う価値観が社会に広がって欲しいと願います。頑張っていない人なんていないのです。自分なりの頑張り、誰だって認めて欲しいですね。



- 生徒会役員の立候補受け付けが始まります。役員は選挙で選ばれますが、今この瞬間、君達自身が生徒会員であることを忘れてはなりません。自分が一員であるとの自覚をもつことも、選挙の大切な意義の一つです。

今週のサザエさん

負けず嫌いなのはいいことだけど いつもそうだと疲れてしまうわ
(勝つことだけでは学べない何かもあるのです。負けを認めることも大切です。)

パイルアップ

平成28年
11月10日

第26号

文責:校長

トトロ

先日テレビで放映された「となりのトトロ」。何回も観ているのに結局最後まで観てしまいました。幼少期の昭和の良さが思い出される何とも言い難い温かさが大好きです。ひょっとしたら大人の私たちには見えないものが、小さな子どもたちには見えているのかもしれませんが、子どもの純粋で無垢心を失わない大人でありたいものです。トトロと会ってみたいですからね。

映画の冒頭で大変印象的な場面があります。さすが宮崎駿監督だなあと、妙に感動してしまう本当に何気ないシーン、それはお父さんがサツキとメイに2階の窓開けを頼む時の「2階の階段はいったいどこにあるのでしょうか?」と言うセリフです。いやぁ見事です。素晴らしいです。大いに感動します。

普段私たち大人は、子どもに「○○しなさい!」と連呼します。更に言うならすべてのセリフに「早く」と言う装飾がなされます。朝から終始、早く起きなさい、早く着替えなさい、早く行きなさい等々…まさしく連呼ですよ。もちろん大人には大人の事情があります。大人の苦悩、大人の想いもまた崇高ですから、子どもにもそれは分かって欲しいと願うのです。

でも、サツキとメイのお父さんは違います。「窓を開けてきなさい!」で済むはずの言葉を、2階の階段を探すという子どもの興味関心意欲を引き出す魔法の言葉へと変化させてしまいました。結果、子ども二人は引越しまもなく新居の探検を兼ねて、大喜びで階段の搜索を開始したのです。

まんまる言葉 ふわふわ言葉を意識して使ってみよう!

本当は大人の私たちにもトトロはもちろん真っ黒くろすけもネコバスも見えるはずですが、でも「しなさい!」ばかりでは、目の前の子どもの頑張りすら見えなくなってしまいます。何気ない言葉かけにもほんの少しの工夫があれば、子どもも大人も笑顔が増えるのかもしれませんが、



v週の予定 第27週 11月14日～11月18日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
14日(月)	何と! 休みだ! (12日参観日の代休)						
15日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
16日(水)	水①	水②	水③	水④	校内漢検	水⑥	水⑦
17日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
18日(金)	金①	金②	金③	金④	金⑤	金⑥	放課後

○朝夕の冷え込みが随分激しくなってきましたね。心臓に疾患があり寒さが大敵の私には、鬼門の冬の到来です。インナーを着込み、ベストを着用し、背中と腰にはホッカイロとまさしく完全装備で寒さと戦わなくてはなりません。暖房器具に頼らずとも、着込むだけ着込めば理屈上は寒さは防げます。しかし夏はどうでしょう。脱ぐだけ脱いでいっても最後は体にたどり着きます。もう脱げなくなったら、暑さには対処できないのです。何事にも限界があるのですよね。だからこそ「工夫」があるのです。限界に達する前に様々な工夫をこらして何とか現状を改善しようとするのは、滅して贅沢ではない、人間としての「生きる知恵」なのでしょう。「限界だ!」と思ったらまず避難。そしてそこで作戦を練ってみましょう。工夫の余地があるのであれば、あきらめるのはまだ早い!

○先日の落成記念式典にあわせて、たくさんのお祝いのお花を頂戴しました。それだけでも美しい花が、送り手の校舎落成を祝って下さるお気持ちを感じると、さらに美しく見えます。校内いろんなところに頂いたお花を展示しています。是非足をとめて見て下さいね。花は自力で美しく咲くことはできません。見る人が美しいと感じるから、それは美しいのです。



今週のサザエさん

自分だけの世界が作りたかったら、無人島でも行きなさい!

(自分の世界はとても大切。でもそれが周囲と融合して初めて世界になるのです)

口内炎

助けて！と絶叫したくなるほどの激痛が襲っています（涙）。割と毎年口内炎に悩まされるのですが、よりによって今回は下唇の付け根の真ん中、一番痛い部分に特大のやつができてしまいました。普通にしているだけでも痛いの、飲んだり食べたりするたびにもう地獄です。涙がちよちょぎれます。

特大と言っても所詮口の中、実際にはほんの数ミリの小さな傷です。それが大の大人が涙を流すほどの激痛をもたらすのです。飲食が困難なのですから、当然日常生活のすべてに支障をきたしています。できたての頃は、こんなに深刻になるとは思いもしませんでした。痛みが大きくなり始めたら、勝手にそれがピークで徐々に良くなっていくと思い込んでいました。ところが、日ごとに苦痛は増すばかり。ピークだと思っていた痛みはほんの序の口で、エンディングが近いと思っていたストーリーは序章だったのです。

たかが口内炎と言われたらもうどうしようもありません。自分も口内炎くらいあると言われても、あなたの痛みと私の痛みはどうやって比較できるの？とってしまいます。今の私が一番欲しいのは「痛いねえ」という共感なのです。励ましの言葉も嬉しいでしょうが、すでに痛みを耐えて頑張りぬいているつもりなので、激励よりもやはり「よしよし。痛いね」と言ってもらえたら、なんとなく嬉しいような気がするのです。いい歳こいて（汗）

たったそれくらい たったなんて誰が言えるのでしょうか

ああ痛い！痛い痛い！生徒の皆さん、優しい言葉をかけて下さい。そのかわり、私も君たちに「たったそれくらい！」なんて二度と絶対に言いません。たかが数ミリの口内炎なのにこんなに苦しめられるとは…いつ治るのかなあ。明日は痛みが引いているといいなあ。生徒の皆さんも、それぞれが感じる心の痛みを抱えながら、毎日頑張っているんだろなあ。やっぱりみんなはすごいです。君の痛みは君にしかわかりません。だったら他人の痛みを小さく評価せず、それを分かち合えるような感性を大切にしましょうね。

来週の予定 第28週 11月21日～11月25日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
21日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
22日(火)	芸術科 鑑賞教室						
23日(水)	祝 勤労感謝の日 祝						
24日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
25日(金)	金①	金②	金③	金④	演説会・選挙		放課後

○困難にあって苦しくてたまらない時、私はつい亡き両親を思います。両親に感謝感謝です。でもふと思うのです。亡き両親が実際に何か手を貸してくれることはありません。結局は自分で何とかしているのです。ならば、うまくいかないことも、誰のせいでもなく、自分でそうしてしまっているのです。誰に甘えようが誰のせいにしようが、結局は自分自身がすべてなのです。いつか歯を食いしばり踏んばらなければならない…気力を満たすために誰かにどんどん甘えましょう。でも踏み出す一歩は自分の決意です。失敗しても誰かのせいにせず、次につながる良い経験にしていけばよいのです。うまくいくこともいかないことも大切に！

○先日出張でお邪魔させて頂いたお部屋に、写真のような一輪挿しが飾ってありました。とても嬉しかったです。挿して下さった方の思いが伝わってきて、とても穏やかな気持ちになりました。優先順位で語るなら、この一輪挿しがなくてもこの部屋の機能には何の支障もありません。なくてもよいものなのかもしれませんが、そこにこれがあることで確実に何か温かい雰囲気生まれています。小さな配慮は全体の中では本当に小さい存在かもしれませんが、しかしとても大きな影響があるのです。それが配慮です。



今週のサザエさん

本当に大切なことは インターネット以外から学びなさい！

(聞く、見るだけでは学べないこと。「感じる」ことが何よりも大切ですよね。)

天使の一声

9年前、私は九州大学病院で「大動脈弁置換術」なる手術を受けました。11月14日に入院し、21日に手術、30日退院と書いてしまえば何のことはありませんが、不調を感じた8月31日、「大動脈弁閉鎖不全」と言う聞いたことのない診断名の出た9月6日、それから約一週間の検査入院、その後九大に入院するまで自宅療養をするための病気休職、そして術後の1月に職場復帰するまでの4か月間は、今の自分を支える原体験となっています。

「病気になって良かった」と言ってしまうのは、病気で苦しんでいる方々に失礼です。しかし、少なくとも病気になってすべてがマイナスではありませんでした。それをきっかけに気づいた大切なことがいくつもあるのです。

術後数日は思い出すのも苦痛な日々でした。集中治療室で麻酔から覚醒していく時間帯はもう二度と味わいたくありません。回復室に移ってからも、痛みに加え全身の不調もあり、本当にきつかったです。更に抜管の影響からか頻尿を発症し、一睡もできない日曜日の夜を迎えました。きつくてきつくてたまらないのに「自分ごときが弱音を吐いたらいけない」と言う妙な遠慮もあり、それをひたすら我慢し続けました。そんな中、ある看護師さんが声をかけて下さったのです。それはまさに天使のような一声でした。

齋藤さん、きついですねえ

思わず涙が出ました。そうです。私はきつかったです。たくさんの看護師さんが「頑張って」と励まして下さいました。もちろん嬉しかったです。しかし不意に「きついですね」と声をかけられた瞬間、自分のきつさをこの方は分かって下さっているんだと言う安心感からか、ボロボロと涙が出る自分にびっくりしました。励ます言葉は難しいですね。しかし、気持ちが変わってもらえることは、確実にエネルギーに直結するのではないのでしょうか。「共感的理解」の大切さを痛感した忘れられない天使の一声でした。九大病院ハートセンターの皆様への感謝は今でも尽きることはありません。

来週の予定 第29週 11月28日～12月2日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
28日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
29日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
30日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
1日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
2日(金)	やばい…中間考査初日やん…						

○便利すぎるのも考え物です。私はサーモス社製の水筒にお茶を入れて持参しているのですが、たまに全部を飲み切らずに持ち帰ることがあります。さて、先日の午前中いつものように水筒に口をつけてお茶を飲みました。いつもよりぬるいことに不自然さを感じつつもおいしく飲み切りました。そこで気づいた事実にびっくり仰天。何と私が口にしたのは前日の飲み残しではありませんか！その日に新しく入れてきた水筒はまるまるその横に置いたまま。前日に飲み切らずに忘れて帰った水筒を、翌日に飲んでしまっていたのです。それが少しぬるい程度で保温ができていたという驚愕の事実！完全に冷えていたら前日の残りであることに気づいていたろうに…多少不便なぐらいが丁度よいのかもしれないね。

○再びの津波警報…どんなに怖かったことでしょう。被害のあるなしではありません。ましてや被害の大きい小さいでもありません。それが当事者の方々にとって、どれだけの恐怖かを考えると、心に突き刺さる思いでした。誰が悲しんでも共に悲しめる、どんな喜びにも素直に共感できる自分でありたいです。不幸は自分にふりかからなければ誰にふりかかってもしよいのでしょうか。テレビの中の出来事ではありません。何事も必ずそこに当事者がいるのです。



今週のサザエさん

やりたいことがあるときはとにかくやりなさい！そして結果を晒すのよ！
(うまくいかないことも堂々とさらしましょう。恐れては一步を出せません。)

自画自賛

今月は出張の多い月で、相応にストレスがたまりました。過酷な事実とこの上ない幸福感が同居するこの不思議な空間を離れたくはありません。と言いつつ、後ろ髪をひかれながら学校を出ることで、そこで出会った方々と違う空間を味わうことができます。すると、その場を起点に、客観的に立花を見ることができるし、想いを募らせて学校に帰ってくると、生徒の皆さんへの愛しさがその都度何倍にも大きくなっていることを実感します。

他校の雰囲気どうこう言うつもりは全くありません。しかし、正直に感じることを言わせて頂くと、やはり立花高校の雰囲気は最高です。どことなくのどかでおおらかで、笑顔と苦悩が混在した独特の雰囲気。時間がゆったりと流れ、生徒の雰囲気があきらかに伸びやかです。来客の方々が口々に賞賛して下さる校内の雰囲気は、どうやら社交辞令ばかりではないようです。他にも素晴らしい学校はたくさんあります。しかし、本校のような雰囲気の学校で出会うことはありません。どちらが素晴らしいかを比較しているつもりはありません。比較ではなく、率直に私は今の立花の校風が大好きです。

改善点の多さより たった一つの達成点に自信を持とう！

いい歳こいて自画自賛の私です。当然です。校長として謙虚でありたいとは思いますが、私は決して謙遜は申し上げません。本校の生徒達は日本一です。ならば、他校にもその数と同じ日本一が存在していて良いじゃないですか。みんなが我が校こそ日本一と思えることは素晴らしいと思います。大牟田地区の高校の生徒指導部の先生方が本校を見学に来られました。いつもはきっと強面の先生方なのですが、ごらんのようにゆっくりと展望ラウンジでくつろいでありました。本校は疲れた社会を癒すオアシスのような魅力があるのかもしれないね。



来週の予定 第30週 12月5日～12月9日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
5日(月)	代休						
6日(火)	中間考査 二日目						
7日(水)	中間考査 三日目						
8日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
9日(金)	金①	金②	金③	金④	校内英検	金⑥	放課後

○天神の雑踏の中を歩いていた時に、ふと耳に優しい宮崎弁の響きが聞こえてきました。たった一瞬すれ違っただけの男性三人組、幸い通行の都合で隣り合わせで止まりましたので、思い切って「宮崎の方ですか？」と話しかけてみました。「なんでわかったんですか？」とびっくりされる言葉がこれまたコテコテの宮崎弁。一瞬で即席の県人会の出来上がりです。皆、一番安心できるはずの育った場所から離れて、違う環境の中で必死に頑張っているのですよね。たかだか方言です。でもどんな小さな何かでも、私達はその場その場でいつの間にか身についたものをまもって今を生きています。素直に「頑張ろう!」と思った一瞬の出会いでした。

○先日、某所にて講演の機会を頂きました。一番前の席ですごく熱心にメモをとっておられるご高齢の男性がいらっしゃいました。人生の大先輩に未熟な話を聞いて頂くのは本当にプレッシャーです。終了後、その方が私ごときに「サインを下さい」と歩み寄ってこられました。と、メモを取っていたと思っていたその紙には、ご覧のような私のスケッチが描かれているではありませんか！自由に発揮される個性はステキですよ。授業中にイラストを描いている生徒結構いますしね(笑)君達は授業に集中せよ！



今週のサザエさん

それがサザエの良いところだけどね(^^)

(マスオさんの一言です。失敗の多いサザエさんの個性をゆったりと認める名言です)

共に

大分で行方不明になっていた2歳の女の子の無事発見のニュース、テレビに映る女の子のあどけない表情に、思わず泣いてしまいました。良かった。原三信病院での事故のニュースにも泣いてしまいました。残された女の子の心情を想うとたまりません。また事故を起こしたタクシーの運転手の方にも家族があるのです。悲しい事件は、全員が被害者なのかもしれません。

私の両親は、テレビのニュースに心から一喜一憂する人でした。特に母は、誰かが悲しんでいると共に泣くことのできる心豊かな母でした。幼心に、テレビを見ながら泣く母の優しさが身に染みていたように記憶しています。そして今、同じように泣いてしまう自分に、明らかにあの亡き母が宿っているような気がしてなりません。あの母の息子であることを実感しています。

もし立花の生徒がこんな目にあったら…と考えます。君たちのどんな悲しみも先生方の悲しみ。もちろん許せません。何をしても君たちを守るのが私たちの使命です。しかし、ふと思うのです。立花の生徒じゃなくて良かったのか？立花の生徒でなければ、だれが悲しんでも良いのか？立花の生徒だけが守られればそれで良いのか？当然ながらそれで良いわけはありません。君たちを想う気持ちと、他者の存在を軽んじる気持ちは、決して重なるものではありません。君たちの幸せも、他者の幸せも同じように大切なのです。

大切だと思う何かに 優先順位などつけられない

校内では多くのトラブルが起きます。誰かのせいで悲しい思いをする誰か、その両方の誰かが共に愛すべき生徒であることの苦悩が尽きることはありません。生きる者全てに、その幸せを願う崇高な想いが共に存在しているのです。他人の涙を笑うな。他人の喜びを妬むな。心と心が重なることは決して簡単ではないけれど、それを目指す立花でありたいのです。大分の女の子の無事を全校で喜び、事故の涙を全員で悲しみましょう。そして自分自身も他の誰かも、共に愛しく思える大きな心を育てたいと願っています。

来週の予定 第31週 12月12日～12月16日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
12日(月)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
13日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
14日(水)	水①	水②	水③	水④	校内英検	水⑥	水⑦
15日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
16日(金)	金①	金②	金③	金④	火①	火②	放課後

○生徒の皆さんには不謹慎な話題で申し訳ないのですが、忘年会が続いています。連日連日、今年もお世話になったたくさんの方々と席を囲んでいて気付いたのですが、これって単なる口実では？何もわざわざ忘年会としなくとも、会いたい相手とはいつでも会って話したい話をすればよいのです。忘年会と言う理由にかこつけて、それを口実にわざわざセットすることも無いのでは(笑)。と言いつつ、わざわざでも口実を作らないと結局は疎遠になってしまうものです。やはり人間「きっかけ」は大切なんですよ。何か良い具合のきっかけがないとなかなか行動に結びつきません。何事もきっかけ作りから始めなければならぬのかも…

○さすが我が寮中真一先生。日頃よさこいの部員たちと一緒に踊りこんでいるだけあって、先日開催された地元美和台校区の忘年会での余興の腹筋大会で、見事優勝を果たされました。が、頑張りすぎた結果、ベルトがブチ切れると言う大事件。何事もほどほどであることが肝要ですね。頑張りすぎるとどこかに必ずしわ寄せが行くのです。それにしても、地元の方々にこんなに親しくして頂ける立花高校は本当に幸せです。生徒の皆さん、地元の方々のご理解の陰に一本のベルトの犠牲があることをお忘れなく。



今週のサザエさん

いつかホンモノになる日まで、胸を張って真似を続けなさい
(人真似のどこがいけないのでしょうか。真似する気力と労力はとても尊いものです)

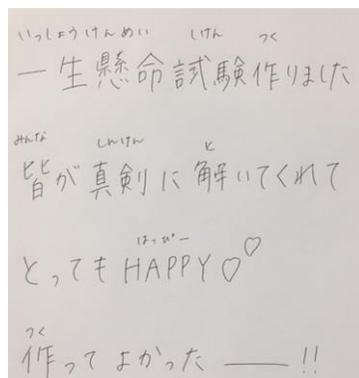
立花高校学校通信	平成28年 12月15日 第31号 文責:校長
----------	---

パイルアップ

覚悟

本校には「いいね♥ボード」なるものが設置されています。先生方が独断で「いい!」と思った校内の様々な出来事を掲示していくコーナーなのですが、その中のある先生一枚が、大きく心に残りました。先日の中間試験の際に掲示されたこんな一枚なのですが、これ、不朽の名作だと思うのです。

書いたのは古野先生です。試験問題を一生懸命作問したこと、それを生徒の皆さんが真剣に解いてくれて嬉しかったこと…ただそれだけの何気ない内容です。その何気ない内容の温かさに思わず涙が出ました。古野先生は、自分の問題に真剣に取り組んでくれた生徒に感謝をしていらっしゃるのです。「当たり前」だと思ってしまうのは、とてもそこに感謝の気持ちなど感じる事ができない「普通」の場面も、大人の心の持ち方ひとつでこんなにも美しい場面に昇華されるのです。



生徒が登校することも、試験に臨むことも、試験中おとなしくじっとしていることも、すべて生徒達が頑張っている努力の形です。当たり前で済ませてなるものか。学校と言う場所では、こんな考え方は「甘い」と批判されてしまいかねません。逆です。こんなに厳しい覚悟があるでしょうか。

指導でもない しつけでもない 愛を伝えあえる学校でありたい

私は厳しい指導を否定するつもりはまったくありません。そもそも、厳しいとか甘いとかいう価値観では語れません。厳しく子どもたちを引き上げようという指導も、受容し共感して子どもたちを信じる指導も、どちらも崇高です。ただ、命令形の言葉を多用し威圧するより、笑顔で子どもを見守る大人の方が、より強い決意、覚悟を秘めているような気がしています。

来週の予定 第32週 12月19日～12月22日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
19日(月)	月①	月②	月③	月④	三者面談		
20日(火)	火①	火②	火③	火④			
21日(水)	水①	水②	餅つき準備				
22日(木)	餅つき大会				退任式・閉講式	放課後	

○今年最後の一日は、伝統の「餅つき大会」が計画されています。何やら食中毒等を懸念して餅つきの自粛を求める自治体が見られるとか。悩まれた末の決断を批判するつもりはまったくありません。ありませんが…何かこうすっきりしないのはなぜ?中止の前に様々な工夫の余地があると思います。リスクを懸念して中止の判断がベストだという価値観が強く広がりすぎると、やがて私たちは何もできなくなってしまいます。ならば本校も餅つきは中止、ネット被害が懸念されるので生徒のスマホや携帯の所持も禁止します。風邪の蔓延が心配なので、冬場は授業を中止、夏場も熱中症が心配なので授業中止、いや、そもそも交通事故が心配なので生徒の登校を一年中禁止します!あら?学校がなくなってしまう。それは愚かすぎるので、やっぱり全部撤回します。皆さん、お互いにすべての場面でいろんなことに配慮しながら、安心できる学校生活を作り上げていきましょうね。つきたてのお餅、楽しみでなりません(^ ^)

○左にあげて「いいね♥ボード」、3階エントランスから4階にあがる階段入口に設置されています。保護者の皆様、来週から三者面談も始まりませう。せっかくご来校頂くのですから、どうか是非一枚一枚に目を通して下さい。わずか数十センチ四方の小さなボードですが、立花の精神の宿る素敵なボードだと自負しています。理想は高く、実践は手さぐりの私たちですが、生徒への愛情だけはたっぷりと注いで参る集団でありたいと願っています。できないことだらけの反省ばかりの毎日ですが、小さい「できていること」に目を向けると、ちょっぴり笑顔も広がります。

今週のサザエさん

大人になるために必要なことは 新しい風景でなく 新しい目をもつことよ
(どんなに新しい景色を見ても感じ方が一緒なら何にも変わらないのですね。)

立花高校学校通信	平成28年 12月22日 第32号 文責:校長
----------	---

パイルアップ

ルール

先日福工大前の踏切で、ルールを破った、たった一台の車の影響で周辺が大混乱に陥りました。詳細は避けませんが、文字通り大混乱です。往来の車が一斉に立ち往生する様子は、ある意味壮観な絵巻でした。そうお目にかかれるものではありません。しかし、その混乱を尻目に、きっかけとなった一台の車は颯爽と走り去っていきました。「早く」と言うその一台の目的は見事に達成されたわけです。残りのほぼ全員に大きな迷惑を残しながらですが。

私たちの感覚は一人一人違います。例えば今日も、寒いと感じる人がいれば温かいと感じる人がいます。しかも、一言で寒いと言っても、ぶるぶると震えるほど寒く感じる人がいれば、多少肌寒い程度の人もいるでしょう。黒板の字も見やすい座席の位置はひとそれぞれだし、博多に行くのにバスが良い人もいれば電車を選ぶ人もいます。全員が違っていいのです。

違う感覚を持った人間同士が同じ空間で生活をするのです。「違ってよい」と言うだけでは、集団生活を維持することは困難です。そこには相手に配慮する「思いやり」が絶対必要です。その配慮が形となったものが、様々なルールと言うことになるのでしょう。そこから先は誰かに不愉快な思いをさせる「迷惑行為」であることと、許される個人の感覚との境界線なのです。

感覚のずれを訂正してくれる苦言に 素直に耳を傾けよう

止まれの標識を、そのまま突き抜けたいと思う気持ちそのものはあって良いのです。でもその行為で懸念される「危険な結果」は事前に回避する必要があります。結果事故に至らなかったからOK!では、あまりに乱暴な結果論ではありません。行為としてそれを我慢する「理性」はとても大切です。私たちは集団の中で生きています。ルールで守られているのです。



新年の予定 第33週 1月2日～1月6日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
2日 ～ 5日			ゆっくりのんびり 過ごしましょう				
6日(金)	開講式・餅つき大会					放課後	

- 27年前教員になりたての年、節分の日に教室で豆まきをしたら、先輩の先生にこっぴどく叱られたことがあります。「学校に飲食物を持ち込むとはけしからん!」と。その先生は間違っていないです。教師としての姿勢を教え込んで下さった厳しいご指導には、今でも感謝しています。片や立花高校。クリスマスの飾りが各教室を華やかにしています。ハロウィンの時には、お菓子の準備が追いつきませんでした。私には、すべてがすごく楽しく感じます。学校ですから、枠組みから外れる行為を厳しく論ずる行為も大切です。学校ですから、子どもが子どもなりの価値観で楽しく過ごすことも大切です。どちらも正解で良いのかもしれない。「ちょうどよい」バランスがきれいにとればそれが一番良いのですが、どうしてもどちらかに偏ってしまうのもまた人間なのでしょう。すべての生徒がストレスなく楽しく過ごせる学校でありたいなあ。

- 今この通信を書いているこの瞬間(21日の11:10)、校内の大清掃のBGMは何と「浪花節だよ人生は」。細川たかしさんの美声が朗々と校舎に響いています。担当の生徒の選曲センスに爆笑を通り越して敬服です。演歌によって校内の大清掃…唯一無二の空間を本当に愛おしく感じます。今年もあと10日、いろんなことがありました。ご期待に添えていない未熟な実践には率直にお詫び申し上げます。全教職員、拙いながらも心を奮い立たせながら、手探りの毎日を懸命に積み重ねてようやく今日を迎えることができました。ありのままを受け入れるだけで精いっぱい毎日ですが、生徒にはただただ感謝の気持ちでいっぱいです。皆様、良い年をお迎え下さい。来年もどうぞよろしくお願いたします。

今週のサザエさん

起業はアートで ビジネスは科学よ

(すぐ過ぎる名言です。教育もそう。新たなアイデアは感覚でも実践は科学です。)

パイルアップ

平成29年

1月6日

第33号

文責:校長

意志

宮崎に「白髭神社」と言うとても不思議な神社があります。写真ではわかりにくいのですが、そこにはこんな何の変哲もない丸い石が置いてあります。添え書きには「一度目は石をなでなでして両手で持ちあげる。二度目は石をぱちぱちとたたいてから両手で持ち上げる。重さが違いますか?自分の心次第で相手が変わる証である」と書いてあります。実際にやってみると本当にびっくりです。最初より二回目の方が確実に重く感じるのです。



石の重さが変わるはずがありません。添え書きに書いてある通り、自分自身の心の持ち方で、石の重さが違って感じるのです。何度やっても、石を撫でた時よりも叩いた時の方がズシンと両手にその重さが伝わりました。その明らかな違いに、思わず声を上げてしまったほどです。本当に不思議です。

石は、結局は「意志」なのですよね。心がけ一つで、重さも変わる。いや、重さに限ったことではなく、人間関係においてもまったく同じことが言えるのではないのでしょうか。「重い」「怖い」「嫌だ」と感じる人も、実はこちらが相手を撫でるような気持ちで接すると、少しでも「軽く」「優しく」「良い」と感じれるようになるのかもしれない。反対にどんなに素敵な人でも、こちらが相手を叩くような気持ちで接すると、相手の素晴らしさを感じ取ることができなくなってしまうのかも…自分次第で変わる余地はあるのです。

美しい物を美しいと思える あなたの心が 美しい

全てが自分のせいだとは言いません。熱い物は熱いし嫌なものは嫌ですよ。でもほんのちょっと努力をしてみましょう。「きれいだな」とか「いい人だな」と思った瞬間、それはあなたがそう感じているからなのです。その心を大切にしましょう。石の重ささえ「気のせい」で変わるのです。人間関係も、ほんのちょっとの努力で変化するかもしれませんね。

新年の予定 第34週 1月9日～1月13日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
9日(月)	祝 成人の日 祝						
10日(火)	寒稽古		火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
11日(水)			火①	火②	水⑤	水⑥	水⑦
12日(木)			月⑤	月⑥	木⑤	木⑥	木⑦
13日(金)			火⑤	火⑥	月⑤	月⑥	放課後

○明けましておめでとうございます。冬休みはいかがでしたか?私は故郷宮崎を満喫しました。英気を十分に養って、生徒の皆さんと会いたいという気持ちが日増しに大きくなっていきました。今日がどんなに待ち遠しかったことか。本当に嬉しい気持ちで今日を迎えています。だからこそ、今日がしんどい人もいるんだろうなあと考え、心が張り裂けそうな思いです。どうかみんなが幸せであって欲しい。それだけを願っています。頑張りすぎない程度にぼちぼち頑張っていきましょうね。

○伝統行事寒稽古が始まりますね。きついことに無理矢理にでも取り組ませることを積極的にはしていない立花ですが、だからと言って、きついことは全部全部やらなくてもいいと言っているわけではありません。きついことに取り組めることは素晴らしいことです。今はまだ難しくても、いつかできるようになることも素晴らしいことです。いい加減に取り組むも、必死にやるも、休むも出るも、すべて君たち自身が自分の責任で決めること。ならば、ちょっとでも前向きにチャレンジしてみませんか?何かが変わるきっかけになるかもしれませんよ。自分なりに一生懸命!

○実家の片づけをしました。思い出の品がいっぱい出てきました。亡き両親の面影がつまった家とのお別れが近づいています。家具がなくなりながらんとした部屋を見ていると、旧校舎が懐かしく思い出されました。この新校舎も数十年後には旧校舎になるのですね。大切に使わなければ。

今週の両さん

人は躓く事が恥ずかしいのではない 立ち上がらない事が恥ずかしいのだ
(つまづいてもいいってみんな言ってますもんね。本当にそうなのかもね)

パイルアップ

平成29年

1月12日

第34号

文責:校長

誰か

私はかつて、生徒達に何か頼みごとをする時には「誰か」と問いかけるように心がけていました。「誰か手伝って」「誰かこれを配って」などのように、あえて、対象が誰であるかをうやむやにするのです。すると最初の頃はなかなか待望の「誰か」は出現してはくれませんでした。我慢比べですね。

人間は他人の役に立ちたいと願っているはずです。しかも子どもたちはみな素直です。「〇〇君手伝って」「〇〇さんこれを配って」と頼むと、中には渋々の子どももいますが、基本的にはみなしっかりと手伝ってくれます。ならば、せっかく言われたらできる力があるのだから、それを言われる前に発揮できたらもっと素晴らしいと考えて「誰か」を使うようになりました。

そう簡単なことではありませんよね。アクションを起こせば、結果は必ず良いとは言えません。良くない結果も含めて、何もしないよりか何かをした方が確実に何かの変化はおきるのです。ならば変化を求めない選択肢もあって良いとは思いますが、しかし、そうして周囲に「無関心」になっていくことは実はとても悲しいことではないでしょうか。お互いにいろんなことを補えるチャンスを失うことにもなってしまいます。私は誰かに助けてほしいし、その分誰かの役に立てるような人間でありたいと思っています。

欠点や失敗は それを補う誰かが活躍できるチャンスでもある

餅つき大会、誰かが材料を買って、誰かが道具を準備して、誰かが火を起こして、誰かがもち米を蒸して、誰かがついて、誰かがちぎって、皆笑顔で食べていました。そして誰かがそれをきれいに片づけたのです。世の中は「誰か」の小さな活躍が連なってようやく一つの空間を作り出しているのです。あなたはどんな「誰か」になりたいですか。「誰か助けて！」の声を無視するような誰かにはなって欲しくありません。誰か…私達自身です。



新年の予定 第35週 1月16日～1月13日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
16日(月)	寒稽古		月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
17日(火)			火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
18日(水)			水③	水④	校内英検	水⑥	水⑦
19日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
20日(金)	金①	金②	金③	金④	月①	月②	放課後

○三連休、「和白東校区」「和白校区」「美和台校区」と近接する三校区の新年賀詞交換会に出席させて頂きました。皆さん口々に新校舎の落成を祝って下さいました。同時に、本当に本校の生徒のことを見て下さっているということを実感しました。良いも悪いも、地域の方々はしっかり君達を見守っていて下さるのです。だからちゃんとしなさい！という話ではありません。「有り難い」と感謝の心を持って欲しいのです。地域の皆様の温かい包括力なしに、学校が勝手に教育活動を維持することは不可能です。もちろん毎日頑張っているのは君達自身です。しかし、頑張れる環境を作って下さっているのは地域の方々です。ならば、君達も地域の力になれるはず。学校と地域は「お互い様コミュニティ」なのです。

○成人式でしたね。卒業生はもちろん、在校生の中にも成人式を迎えた人たちがいます。まずは本当におめでとう。成人式の前日と当日で何か大きな変化がありましたか？例えば急に背が10cm伸びたとか、おでこの真ん中に「成人」と言う文字が浮かび上がったとか…あるわけがないですよ。成人だろうが未成年だろうが、変わらないものは変わりません。ただ、見えない部分での変化なら一瞬で劇的にあるかもしれません。心の中をのぞくことはできません。心の中で何か小さな変化が起きたのであれば、それはやがて訪れる大きな変化の予兆なのかも。毎日が成長できるきっかけに恵まれているはず。私たちは毎日が成人式なのかもしれませんね。子どもから大人に変わる貴重な経験は、人生ずっと続いていきます。私は昨日よりほんのちょっぴり成長していきたいです。

今週の両さん

すべて人のせいにする だからいつまでも成長しない！

(結局は自分自身なのです。誰のせいであっても、乗り越えるのは結局自分)

パイルアップ

平成29年

1月19日

第35号

文責:校長

カート

先日、とある大型ショッピングモールで買い物をした時の出来事です。帰り際、駐車場に一台のカートが放置されていました。恐らく車まで荷物を運んで、そのままにして出発したのでしょう。大変邪魔になる場所に、堂々と放置してあるカートに本当に悲しい気持ちになってしまいました、



この場所にカートを放置した方は、とても理にかなっていません。重い荷物を車まで運んで、しかも返さなくて済むのですから、余計な労力を使うことなく気持ちよく帰られたことでしょう。ただ一点、他人に多大な迷惑をかけているという事実をのぞいて考えれば、誰もがそうした方が便利なのです。迷惑に加え、大きな危険も伴うこの行為も許しがたいのですが、さらにそれに気付いておきながら片づけようとしないう方も、ちょっぴり残念です。

先週号の「誰か」とよく似た内容になってしまいますが、誰かが放置したら誰かが片づけなければならないのです。「感性」の問題なのでは。それを想像する感性があれば、「理性」が働き、このような迷惑行為を避けられるはずです。気づいたら片づけようとする感性があれば、やがてこれを放置している人の心にも、何かが届くと信じたいのです。このような状態を巻き起こしている大人たちに、どうして子どもたちにとにかく言うことができましようか。まずは大人の責任を果たす、その先に子どもの成長もあるはずです。

小さなことを見逃さない感性が 結果を生み出す力になる

全てが万能である必要はありません。せめて、せめて立花の生徒達には、こんな行為をする大人になって欲しくはありません。それを片づける人の活躍は、決して人の目に触れて賞賛される活躍ではないけれども、社会はそんな小さな活躍を絶対に必要としているのです。目立つ活躍はそれが得意な人に任せて、私たちは「人として」正しい感性で社会に貢献してきましょうね。

新年の予定 第36週 1月23日～1月27日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
23日(月)	月①	月②	月③	月④	入試会場設営		放課後
24日(火)	専願入試(生徒休校)						
25日(水)	合否判定会議(生徒休校)						
26日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
27日(金)	金①	金②	金③	金④	金⑤	金⑥	放課後

※27日(金)は、2年DS、1年は職場体験実習・インターンシップの事前指導

○1月17日は、6343名もの方々が犠牲になった阪神淡路大震災から22年目の節目の日でした。今もなお3名の方が行方不明のままです。22年は皆さんにとってはるか昔の話ですか？テレビを見ましたか？地震が起きた午前5時46分にあわせて、多くの方々が涙を流されていました。昔の話ではありません。どんなに時間が経過しても、当事者の方々にとっては過去の話ではないのです。東北の大地震、昨年の熊本の地震、記憶に新しい出来事も、大切に語り語り継ぐ努力をしなければ、当事者以外の人にとっては他人の過去形になってしまいかねません。震災から得たものからもしっかり学びながら、「忘れてはならない」大切な何かに気づけるよう、このような節目の日を大事に過ごしたいものです。

○先日、某所にてたくさんの鳥がある女性の方の頭上に集まっていました。その女性が何か餌を与えておられたその光景がとても素敵で、私は歩みをとめて思わず見入ってしまいました。そして無意識に、その鳥の姿をスマホで映そうとした瞬間、その女性が「やめてよ！気持ち悪い！」と私に声を荒げ、立ち去って行かれました。私は激しく落ち込みました。だって「気持ち悪い…」って(涙)。恐らく自分が撮影されると感じられたのでしょね。そういえば、あの女性の怒りはごもつとも。誤解されるような行動をした私が軽率だったのでしょ。でも、私には他人に「気持ち悪い」と言葉を発することはできません。何気にかける言葉は恐ろしいですね。私も皆さんも、お互いに言葉は選びましょうね。

今週の両さん

子どもが時間など気にするもんじゃない！ 徹底的に遊べ！

(かっこいいなあ。学校がこう言えたらすごいなあ。なら、言えいいか。)

立花高校学校通信

パイルアップ

平成29年

1月26日

第36号

文責:校長

入試

火曜日に専願入試が行われました。かつての君たちがそうだったように、今年も受験生が一生懸命この坂道を登ってくる姿を見るだけで、涙が流れてしまいました。どんなに緊張していることでしょうか。保護者の方と一緒に上る坂道の記憶は、これから先の彼らの記憶の中でどんな意味を持つのでしょうか。



今や96%もの子どもたちが高校生になる時代です。大人はそれを「当たり前」の一言で片付けます。何が当たり前のことでしょうか。4%の子どもたちにとっては、それがとてつもなく高いハードルなのです。しかも忘れてはならない事は、実現している96%の子ども達、つまり在校生の君達は頑張って入試に臨み、合格と言う結果を自らの力で手に入れていると言う事実、それを当たり前で済まされたらたまったものではないと思います。

頑張ることは当たり前で、頑張れないことはダメなことなのでしょうか。逆に考えてみるのは甘すぎますか？頑張れなくても仕方がない、でも頑張れたらとても素敵なことだと、私は思うのです。学校に行けなかった子ども達がダメだったのではなく、実は学校に行けていることはとてつもなく凄いことだと思えば、批判より賞賛されることが世の中にあふれていることに気付くような気がするのです。ダメな子どもなど一人もいないのです。

100回の「頑張れ！」よりも 1回の「よく頑張ってるね！」

ある受験生のお父様が「ここまで来ただけで…」と感無量で言葉に詰まっておられました。今の在校生の姿を当たり前とは絶対に思えません。みんなよう頑張るとるね。もう一つ感じたいこと。入試で頑張ったのは立花の受験生だけでしょうか？違いますよね。本校に限った話ではない、みんなみんなよく頑張っているのです。子どもだけ？いやいや大人も頑張ってます！

新年の予定 第37週 1月30日～2月3日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
30日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
31日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
1日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
2日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	放課後
3日(金)	一般前期入試(生徒休校)						

※2年DSは職場体験実習

※1年はインターンシップ・木曜日は事後指導

1年生はインターンシップ、2年DSは職場体験実習が始まりますね。インターンシップとは「職業体験」、職場体験実習は「就労体験」と区別するイメージでしょうか。明らかに違う内容ではありますが、双方に共通して認識して欲しいことがあります。それは「魅力を知る・魅力に気付く」と言うことです。働くことは確かに大変なことです。決して楽ではありません。しかし楽しいと感じれることはたくさんあるはず。仕事の大変さだけを語ると、夢も何もあったものではありませんよね。しかし、困難や現実と同じように、夢も希望もあるのです。君達には、働く喜びと言う「魅力」を感じてきて欲しいですし、それ以上に、自分自身の「魅力」に気が付いて帰ってきてほしいと願います。好きな食べ物は人それぞれですね。あなたが嫌いだと思うメニューを、すごく魅力的だと感じる人もいます。自分で自分を嫌いだと感じているあなた。それをとても魅力的だと評価してくれる人が必ずいます。それが社会なのです。決して怖いだけのところではありません。社会の一員として働いてみることで得る経験は、すべてが成功体験なのです。

○来校される方々が皆さん、君たちのことを「明るい」「よく挨拶をしてくれる」と褒めて下さいます。嬉しいです。君たちの良さを認めて下さる方がいらっしゃる事が本当に嬉しいのです。どんなに良い人でも「良い」と認めて下さる方に恵まれてこそ初めて「良い人」になれるのです。君たちが「嫌だ」と思う人も、ひょっとしたら違うかもしれませんよ？

今週の両さん

技術を悪用すれば犯罪でも 正しく使えば感謝されるのだ

(個性もそうですよね。どうせなら感謝される發揮の仕方を見つけましょう！)

欠点

人間誰しも欠点があります。私の場合「落ち着きがない」「計画性がない」「長続きしない」「片付けができない」等々、散々な言われようでした。しかしそれらは同時に、私の持つ「強み」がどこにあるかを教えてくれる大きなヒントでもあったのです。確かに欠点でも、同じことを違う観点で評価して下さる先生方にも恵まれました。各々「いろんなことによく気づく」「すぐに行動に移すスピード感がある」「切り替えが早い」などと表現を少し変えるだけで、途端に私の良い面が目につくから不思議です。

例えば年功序列。年配者から見れば若輩の価値観は「まだ若い」となり、若造から見たベテランは「頭が固い」と言うことになるのでしょうか。これとて、若いことを若いとダメ出しされたら、若手の存在意義はなくなってしまいますし、ベテランの知恵から若手が真摯に学ぶこともできません。要は、己の立場から見たら常に真逆の人がいるだけで、若い人は若さにまかせて突っ走る、ベテランは緻密に慎重に進む、お互いにそれが持ち味なのです。苦手な部分を補完しあえれば、最高の力が生まれるはずです。

私は校長とされる方々の中ではまだまだ突出して若い部類に入ります。幸い各私学の校長先生方は、私の若さをとがめるのではなくのびのびと好きにやらせて下さいます。だからこそ、私はいつもベテランの温かいバックアップを感じ、そのご意見を尊重していこうと言う感覚を自然と意識しているつもりです。信じて頂くことが、信じる気持ちの源でもあるのです。

長所だけでなく 欠点も含めたすべてが その人の持ち味

欠点と長所はほぼほぼ同じことをさしているのです。相手の欠点を責める瞬間は、自らの狭い見識を堂々と露見させているだけなのかもしれません。「落ち着きのない」と酷評された私が、翌年「クラスのムードメーカー」と褒められただけで、学校が楽しくてたまりませんでした。あの時の先生は今でも大好きです。もっとも、最後まで片づけはできませんでしたが…

新年の予定 第38週 2月6日～2月10日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
6日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
7日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	火⑥	火⑦
8日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
9日(木)	後期期末考査						
10日(金)	後期期末考査						

※2年DSは職場体験実習

○先日ある高校生が歩道を自転車で猛スピードで走っていました。「危ない」と思った瞬間、同じく自転車を押して歩いておられた年配の女性と激突し、二人とも転倒しました。するとその女性は、相手の高校生の腕をしっかりとつかんで、それがどんなに危険な行為なのかを、決して感情的に声を荒げることなく懇懇と諭しておられました。高校生は足を強く打ったみたいで相当痛そうではありましたが、女性の話をしっかりと聞きながら深々と謝っていました。起きた出来事は残念でしたが、この女性の大人としての責任の遂行に大きな共感を覚えました。感情的に怒鳴りつけても相手の心にその声は響きません。何も言わずに立ち去るのは、反社会的なマナーの横行を助長してしまいます。人生の先輩として「諭す」姿勢に大変感服致しました。世の中の大人の人たちは、かくありたいものですよね。「最近の若者は」と愚痴る暇があれば、自らの見識を発揮してそれを正しく導けば良いのです。二人ともケガがなくて本当に良かった。私も傍観者ではなく、あんな勇気を持ちたいです。

○飽きやすい人ほど物事にはまりやすく、せっちな人ほど時間を大切にしようとし、喜びやすい人ほど感受性豊かで、泣きやすい人ほど心が優しく、笑いやすい人ほど緊張しやすく、怒られやすい人ほど失敗を恐れず、疎まれやすい人ほど積極的であり、嫉妬しやすい人ほど人を愛しすぎる…「名もなき名言」より。ほらね？欠点も何かとセットで私たちに備わってくれているのです。そいでよかとよ。そのままでよかよか！

今週の両さん

子供たちの幸せもいいが、自分の幸せを大切にしたい方がいいよ

(自分本位にと言う意味ではないですね。幸せはおすそわけするものでもあります。)

節分

先週金曜日は節分でした。もともとは「季節を分ける」と言う意味もあり、立春の前日の「大晦日」のような意味合いがあるようです。地方によってその作法は大きく異なりますが、「鬼は外！福は内！」でおなじみの「豆まき」の文化は日本人にとって大変馴染みの深い行事です。

善き心も神様なら、私たちに人間の中にある弱さや妬みや悪しき心、そのような心も神様の姿。つまり鬼もまた神様なのです。人間誰も両方の神様が宿っているのです。そんな神様でもある鬼に出て行って頂くのですから、豆を上から投げつけるのではなく、下からそっと差し上げて出て行って下さるようにお願いするべきだと言う説に、大いに納得しました。

昨年このパイルアップで「追い出される鬼もきつかる。ならば福は内！鬼も内と声をかけて良いのでは？」と言う内容を書いた記憶があります。病気の部分を切除する考え方も、病気のもとから治すために体質から改善する考え方も、存在しています。いずれにしても、どちらも私たち自身なのです。排除よりも共生、敵対よりも共栄、誰も傷つかない方法がないのでしょうか。全員と仲が良いことにこしたことはありません。しかし無理して仲良くするよりも「違いを知る」ことも大切だと思います。

誰の心にも必ず鬼は存在する 憎むべき存在ではないのかも

人間は集団で生活をする生き物です。人が集まれば当然気の合う人ばかりではありません。腹が立つこともあるでしょう。嫌な思いもするでしょう。しかし、言葉と言う目に見えない「豆」を上から投げつけて追い出すよりも、お互いに理解しあって共に笑顔でいられる努力を続ける方が、嬉しそうな鬼の笑顔と出会えるはず。鬼を敵とみなす自分自身の価値観の狭さに気づく、それが節分の本意なのかもしれませんね。

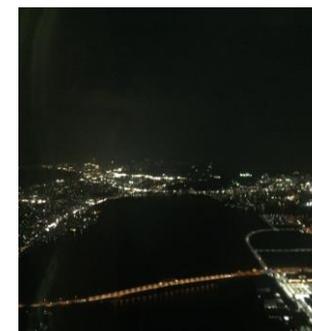


新年の予定 第39週 2月13日～2月17日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
13日(月)	期末考査 三日目						
14日(火)	期末考査 最終日						
15日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
16日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	放課後
17日(金)	金①	金②	金③	金④	職場体験報告会		放課後

※2年DS職場体験実習(水)まで

○何の写真かさっぱりわからない(笑)。実は手前が海の中道大橋です。イオン香椎浜店の上空を越えて福岡空港に着陸する直前の飛行機から撮りました。と言うことは、その奥の闇の中に立花高校があるのです。あるけど見えないだけなのです。見えているものだけが全てとは限りません。有り難い友達の存在など、見失うことはあっても消えてなくなっているのではないのかも。



○スマホが壊れてしまい大変でした。勝手に写メを撮るし電話もかけるし本当に大混乱でした。せめて何もしてくれない方がまし。面白いですね。壊れて動かなくなったらそれで十分困るはずなのに、勝手に動かれたら動かれたでその100倍困るのです。結局は自らの思う通りに動いてくれることを望んでいるのです。スマホは修理すれば元に戻ります。しかし相手が人間ならば？何もしてくれないことも腹が立つし、余計なことをされても腹が立つ。自分の思い通りに動いて欲しい。だからと言って、「修理！」とはなりませんよね。別に相手が故障しているわけではありません。我慢して歩み寄って工夫しなければならないのです。ほんの10年前には存在しなかったものが、今はなければ混乱する時代に私たちは生きています。詰め込んだ知識だけでは役に立たない時代なのは確かです。柔らかい感性を大切にしたいといつも自分に言い聞かせています。

今週の両さん

いつの世でも開拓者は異端児あつかいされるものである

(「変わっている」ことと「違って」ことは同じでないのかもしれませんがね。)

渋滞

先日、都市高速で呉服町出口から天神方面に降りようとしたのですが、大渋滞に巻き込まれて完全に進行が止まってしまいました。時間的には余裕がありましたので、特に焦る必要もなく、のんびりと音楽を聴きながらそのまま流れに身を任せて歩くよりも遅くノロノロと進んでいました。

するとどうでしょう。左車線を大型のバスやトラックが通過していくたびに、都市高速の高架橋そのものがはげしく揺れているのです。もちろん今までにも同様の経験は何度もありますので、既に知っていることではありますが、改めて感じてみるとこれが結構な揺れなのですよね。風圧で車体が揺れているのではなく、あんなに大きな構造物そのものが大きく寄れる様子は、理屈を通り越して感覚的に十分気味悪い現象でした(汗)

自らも走行している時には気づかない現象も、ひとたび止まってみると途端にそこにその現象が既にあったことに気づくことができるのです。なかったものが急に出現するのではなく、ありながら気づいていなかった存在に改めて気づけるのです。そこに最初からあるものも、気づかなければないことと同じなのですよね。同じ立場では気づけないものも、進行中と停車中と立場が変わるだけで、まるで違う感じ方になる…不思議です。

ない？ 見えない？ 気づかない？ ひょっとしてあるんじゃない？

ないものは欲しくなるのが人間です。でも持っているのに同じものを欲しては後々だぶってしまいます。持っていることに気づいておけば、同じものを欲しがることを抑え切れるかもしれません。他人の愛や優しさは、最初から目につく形ではないだけに、自分にそそがれている事実になかなか気づくことができません。一度止まってみると、周囲がどんなに揺れ動いているかを体感できるのかも。滞る勇気も大切に！



新年の予定 第40週 2月20日～2月25日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
20日(月)	月①	月②	月③	月④	くだ祭準備		月⑦
21日(火)	3年生のみなさん頑張ってください祭				卒業式会場設営		火⑦
22日(水)	水①	水②	水③	水④	水⑤	水⑥	水⑦
23日(木)	木①	木②	木③	木④	木⑤	木⑥	木⑦
24日(金)	金①	金②	金③	金④	木③	木④	放課後
25日(土)	持久走大会				放課後		

※3年生は水より午前中卒業式練習

○卒業式練習が始まります。最初に確認しておきたいことは、卒業式は全校行事であるということです。卒業生だけが主役の行事ではありません。ここまで導いた保護者の方々、卒業せずに本校に残る、あるいは志半ばで本校を去っていく共に学んだ仲間たち、準備や後片付けを頑張ってくれる後輩たち、それら全員が主役なのです。ならば3年生の練習は何のためにあるのでしょうか。当日をちゃんとした態度で立派に務め上げるため？私はそうは思いません。長い人生、卒業式のわずか2時間を立派な態度で過ごすよりもっと大切なことがたくさんあります。練習の意義は、上に書いたように多くの支えに気づき、自分を見つめ、過去を愛しく振り返り、人生と向き合うための大切な時間だと思うのです。それは全校生徒にとって必要なことなのではないでしょうか。「意義」「意味」の大きさは、行事の大小で左右されるべきものでもありません。私たちは毎日かけがえのない一瞬を、受け継がれてきた命をお借りして生かされているのです。無駄にのんびり過ごす時間も大好きです。でも振り返って「無駄だった」と思わないよう、「今」「ここ」で懸命に努めましょう。

○バレンタインはいつから日本に根付いたのか(汗)。ああ、でものりですよ。こんなのは全力でエンジョイします。愛する相手に愛を伝える行事ならば、私は迷うことなく全校生徒の皆さんにそれを伝えます。10円の手紙もだましのチョコ。たったと思えばたったでしょうよ。そもそも愛に値段などつくものか！全校生徒の皆さん、絶対義理チョコじゃないし。

今週の両さん

私の書類のほうが、平仮名を多く使用し読みやすいと思います

(漢字を知らない両さん。ひっくり返して考えるとそれもまた長所!)

パイルアップ

平成29年

2月23日

第40号

文責:校長

最後

卒業生にこのパイルアップを配布するのは今日が最後です。3年間で卒業する人たちには、127枚程のパイルアップを3年間文字通りパイルアップしてきました。あまり読んでくれなかった人もいれば、保護者の方も大変楽しみにして下さっていたり、中にはずっとファイルで取ってくれている人もいます。私にとっても毎週発行する作業を通して、アンテナを張り、気づき、考えると云った貴重な自己研鑽につながっています。

3年生には「最後」と名のつく行事がたくさんありましたね。試験、授業、お別れ会、がんばってくだ祭…全部がそうでしょう。でもちょっと考えてみましょう。特別に何かの行事を指さなくても、今と言う一瞬はすべてがかけがえのない、最初で最後の瞬間なのではないでしょうか？私達は初めての「今」と言う瞬間を積み重ねて生きています。そしてそれらすべての初めての「今」は、次の瞬間には「最後」となっていくのです。

かつて君たちが経験した出来事は、良いことばかりではなかったはずで。苦しいこと、悲しいことも、それはもう数えきれないほど経験してきているでしょう。それらすべての経験が連なって今の君たちの感性を創り上げているのです。過去を色分けすることをやめてみませんか？良いも悪いもない、得意も失意もこえた、すべてがかけがえのない最初で最後の「今」は、これから先の君たちへの最高の贈り物だと思っています。

パイルアップの真意は 「今」の大切さに気づくことなのかも

私はいつも、必死に考え抜いてこのパイルアップを書き続けてきました。願いは一つ、この先の人生を歩む君たちを励ましたい、ただそれだけです。ならばこのパイルアップは、卒業生にとって最後の配布ではありません。私達立花の先生方は、ずっとこれから先の君たちを想い続けます。卒業式はゴールでもスタートでもありません。全校生徒にとって大切な節目です。これまでとこれからをつなぐ大切な「今」を心で感じていきましょう。

来月の予定 第41週 2月27日～3月3日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
27日(月)	月①	月②	月③	月④	月⑤	月⑥	月⑦
28日(火)	火①	火②	火③	火④	火⑤	卒業式予行	火⑦
1日(水)	祝 第61回卒業証書授与式						
2日(木)	持久走大会 代休						
3日(金)	金①	金②	金③	金④	結団式	金⑥	放課後

○土曜日は持久走大会ですね。しんどいですね。きついですね。寒いですね。面倒くさいですね。休みたいですね。ん？誰も強制的に来なさいとは言っていないような気が…そうなんですよね。全部全部君たち自身の意志なのです。しんどい中からみえてくるもの、きついからこそ助け合える何か、寒くても走ればあつという間に常夏です。面倒くさいことほどやり遂げた達成感は格別です。すべては、正反対の何かとセットになっているのです。やらなければ、その先に見えてくる素晴らしい何かともずっと出会えることはありません。私たちはいつも「頑張りすぎるな」と君たちに声をかけています。裏を返すと、「自分たちで頑張れるだけ頑張ってみよう」と言う激励だと思っています。走る？走らない？どうせなら全力でのぞんでみませんか？きっとそこに何かがありますよ。

○一昨日横須賀に出張でした。折からの暴風で羽田に着陸できるかどうかわからず最悪福岡まで戻ってくる可能性もあるとのこと。いちかばちかのフライトでしたが、どうにか無事に着陸してホッとしたのもつかの間、電車のダイヤが乱れに乱れておりました。羽田から1時間少々で横須賀につくはずが、何と2時間半！ヘトヘトのボロボロで到着しました。想定していた飛行機でのトラブルは何事もなく回避したのに、想像していなかった地上での大きなロス。本当にわからないものです。しかし、どんなにヘトヘトであろうがボロボロになろうが、無事に目的地に到着できたという事実の何と素晴らしいこと！当たり前ですませたら、各社のスタッフの方々のご苦労は報われません。ありがたいありがたい。

今週の両さん

その努力が いつか実力に変わっていくんだよ

(最初から力のある人なんていないのかも。努力できるのも大事な才能ですね。)

パイルアップ

平成29年

3月3日

第41号

文責:校長

500 円札

今から 37 年前、小学校の修学旅行に参加した時の思い出です。お小遣いは一人 1,000 円以内と決められていましたが、当時の我が家の家計は大変苦しく、どうしても 500 円しか持たせてもらえませんでした。一泊二日の鹿児島への旅行の中で、私はなけなしの 500 円全額をおばあちゃんへのおみやげとして投入し、長寿箸を購入して帰ってきました。

帰宅後私は「たった 500 円しかなかったので自分の物が買えなかった！」と泣いて母に訴えたことを昨日のように思い出します。母はずっと後まで、「あん時はごめんねえ。あんたがかわいそうでならなかった」と何回も何回も私に謝りました。大人になってもずっとです。3 年前に母を亡くした今、私はこの出来事が悔やまれてなりません。子ども心に、まわりの友達よりお小遣いが少なかったことは当然悲しかったですが、決して修学旅行が楽しくなかったわけではありませんでした。本当に楽しかったのです。ならば「お母さん、ただいま！修学旅行楽しかったよ！」と帰ればよかった…そうすればその先何年も母を苦しめることはなかったでしょう。

大切な何かも「たった」と思えば「たった」にしかない

あの時の 500 円は、「500 円しか持たせてもらえなかった」のではなく、母が一生懸命工面して持たせてくれた温かい温かい 500 円だったのだと、今は心から懐かしく思い出します。額面は同じ 500 円でも、そこにこめられた心を感じることが出来る今は、その価値は何倍にもふくらんでずっと私の心を温かくしてくれます。2 年生の皆さん、修学旅行に参加しない人たちに、今年は先生方が授業を開いて下さいます。参加しようがしまいが、誰かに感謝できる心を育める大切な一週間を、全員でつながりあって過ごしましょうね。留守番の人たちにも楽しい土産話ができる、大きな家族旅行のような素敵な旅になると良いですね。家族はいつもひとつですからね。

来週の予定 第42週 3月6日～3月10日

日付	学年	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時
6日(月)	1年	クラスマッチ					
	2年	出発～なにわ探検クルーズ～通天閣～大阪泊					
7日(火)	1年	進路学習					
	2年	震災体験現地交流～大阪城～天保山ハーバービレッジ～大阪泊					
8日(水)	1年	食育					
	2年	江戸東京博物館～浅草～東京泊					
9日(木)	1年	次年度修学旅行候補地プレゼン					
	2年	東京ディズニーシー～東京泊					
10日(金)	1年	校外学習(福岡市動物園)					
	2年	東京スカイツリー～お台場散策～帰着					

○卒業式が1年で一番嫌いな行事です。めでたい日のはずなのに、寂しくてたまらないのです。お別れは何度味わっても慣れるものではありません。もちろん、お別れではないと言うことは頭では分かっています。出会いは永遠だと理解してはいるものの、それまで普通に言葉を交わしていた生徒達の姿が急に見えなくなるのです。晴れ晴れとできるはずがありません。念を残すような気持ちで臨んでもかえって卒業生に失礼ですよ。パイルアップを積み重ねた彼らの努力には心からの賞賛を。何年かかろうが、それが彼らの最短距離です。ゴールは卒業ではありません。目指すべきは、みんなが幸せな人生を歩むこと。幸多かれと祈ります。

今週の両さん

悩んだらまず「生きる」モードに切り替えてからスタートだ!
 (「それからどう生きるかを探せばいい」と続きます。苦しくてもどう生きるかです!)

立花高校学校通信	平成29年 3月18日
パイルアップ	最終号
	文責:校長

立花

「立花高校はどんな高校ですか？」と、よく外部の方に聞かれます。最近私は「ご自身で実際に見て感じて下さい」と答えるようにしています。私はこの学校はとても素敵な学校だと思いますし、大好きです。でもそれはあくまでも私の感覚であり、それが他の方とびったり重なるはずがありません。しかも同じ大好きでも、好きなポイントは全然違うかもしれませんし、私がダメだと思っても、それを「良い」と言う人もいるはずです。

ただし、ぼんやりと「厳しい学校だなあ」と感じています。確かに生徒主体です。いちいち細かく教師が介入し朝から放課後まで怒られっぱなしということもないはずです。しかしそれは同時に、自己責任の重さを物語っていると思うのです。例えば授業に出ずにくつろいでいたとしても、先生方はそれを受け入れます。本校では無理やりにでも授業に出すと言う価値観はありませんからね。それが学校の方針です。そしてそれは出席数・単位数と言う結果となって、すべて生徒本人に返ってきてしまうのです。

もちろん、生徒が出席したくなるような授業を開いて生徒の出席を促すと言う先生側の努力なしに生徒の自己責任としてしまうのは無責任ですよ。私たちの責任も重い学校です。厳しく導く必要性を私はまったく否定しません。しかし本校の聖域として「受容と共感的理解」にたった、おらかな校風は絶対に守り抜いていきたいと、強い覚悟を持っています。

完璧な学校なら 完璧な人しか在籍できないかも (^_^)

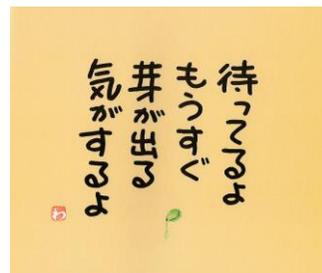
「立花高校は良い学校ですね」と言われたら「はい、良い学校です」と即答しています。校長の私が胸を張れずして、どうして生徒が学校を好きになれましょか。私は校長として謙虚でありたいと願ってはいますが、固く誓って謙遜は申しません。立花高校は、良い生徒に恵まれた日本一素敵な学校だと私は誇らしく思っています。皆さんにも自分の好きな部分、嫌いな部分があるでしょう。よかよか。全部ひっくるめてそれが君です。

新年度の予定 第1週 4月3日～4月7日

日付	1校時	2校時	3校時	4校時	5校時	6校時	7校時
3日(月)							
4日(火)							
5日(水)							
6日(木)	前期始業式	入学式準備	放課後				
7日(金)	祝 第64回入学式				入学式後片付け	放課後	

○保護者の皆様1年間本当にお世話になりました。皆様のご期待に添えるような実践であったかどうかを考えると反省が尽きることはありません。私たち教職員にもっと力があれば、子ども達を大きく成長させることもできたでしょう。特に志に反する結果となっておられるご家庭の心境を想うと、本当に申し訳なく思います。しかし、決して気休めを申し上げるつもりはありませんが、子ども達はどの子も精いっぱい頑張っているかどうかと私は思っています。もっと頑張りたいと思ったのが親の常、我々もそれは同じです。しかし、あの子たちがどれくらい頑張っているかではなくて、あの子たちの頑張りに私たちがどれだけ気づいてあげることができるかどうか、それこそが大切だと思うのです。私達教職員は、生徒に頑張らせることができるだけの実践力を身につけることができるよう努力して参ります。真摯に誠実に。そしてそのようなスキル以上に、心から生徒を愛することができるよう人間力も高めて参りたいと思いを新たにしています。お叱りもお褒めの言葉も全て私たちの力となります。何なりとお気軽にご相談下さい。これからもどうぞよろしくお願い致します。

新コーナー 今週の「わたなべあけみ」さん



新年度は毎週わたなべあけみさんの作品を紹介していきたいと思えます。記念すべき一作目は御馴染みのこの作品。次回第1号もこの作品がからスタートしたいと思います。こんな心境、頭の中では思っていて実践もするとなるとかなり勇気が必要ですよ。でもこんな心境抜きに、本校の生徒達を受け入れることはできません。覚悟のいる心境です。